

## 業 績 目 録

### 〔看護学専攻〕

#### 〔基幹看護学講座〕

##### 【論文著書】

(著書)

1. 八代利香, 死亡診断の規制緩和, 看護師の代行について考える, 倫理的に考える 医療の論点 (浅井篤, 小西恵美子, 大北全俊 編 日本看護協会出版会, 東京) p.89-99, 2018
2. 小西恵美子, 看護倫理を考える言葉 (日本看護協会出版会, 東京) 2018
3. 清水佐智子, 事例をとおしてわかる・書ける 看護記録 ファーストガイド, 初版, 医学書院, 東京, 2018

(英文論文)

1. Motoi F, Satoi S, Honda G, Wada K, Shinchi H, Matsumoto I, Sho M, Tsuchida A, Unno M; Study Group of Preoperative therapy for Pancreatic cancer (PREP): A single-arm, phase II trial of neoadjuvant gemcitabine and S1 in patients with resectable and borderline resectable pancreatic adenocarcinoma: PREP-01 study. J Gastroenterol. 2018 Sep 4. [Epub ahead of print]
2. Hyeyong Lee, Rie Shimotakahara, Akimi Fukada, Sumiko Shinbashi. Trends spanning 36 years of nursing research. Bulletin of the school of health sciences faculty of medicine Kagoshima University, 28(1): 1-8, 2018
3. Kazuharu Mine, Rie Shimotakahara, Hyeyong Lee, Daisaku Nishimoto, Shigemitsu Ogata : Source artery of the Source artery of the dorso-cranial part of subcutaneous structures in the rat trunk. Bulletin of the school of health sciences faculty of medicine Kagoshima University, 28(1): 77-81, 2018.

(和文論文)

1. 下高原理恵, 李慧瑛, 西本大策, 峰和治, 緒方重光, 上野栄一, 日本の公衆衛生研究の歴史的概観. 鹿児島大学医学部保健学科紀要, 28(1): 9-19, 2018
2. 福留清博, 山口さおり, 李慧瑛, 井上尚美, 森隆子, 松田史代, 吉満孝二, 柳田信彦, 赤崎安昭, 保健学科ホームページのアクセス解析. 鹿児島大学医学部保健学科紀要, 28(1): 69-75, 2018
3. 今村圭子, 山口さおり, 中俣直美, 田中久美子, 松成裕子, 基礎看護技術を学習する看護学生の自己教育力に影響する要因の分析. 鹿児島大学医学部保健学科紀要, 3: 31-39, 2018
4. 今村圭子, 新川哲子, 吉田浩二, 永田明, 浦田秀子, 被爆者健康診断受診者の咬合力と他の因子との関連. 看護科学研究, 16: 26-32, 2018
5. 是枝孝子, 八代利香, 看護師の注射業務に関するインシデント事象の分析. 日本医療安全学会機関誌 医療と安全, 8: 14-25, 2018
6. 今村圭子, 訪問介護員のコンピテンシー—アンケート自由記述の分析から—, 九州社会福祉学年報第9号: 9-16, 2018
7. 園田和子, 松成裕子, 武井修治, 低出生体重児の出産リスクを評価するための尺度項目選定の検討—半構造化面接によるデータからの抽出—. 帝京大学福岡医療技術学部紀要, 13: 31-43, 2018
8. 清水佐智子, 宮下光令, 藤澤大介, 藤森麻衣子, 高橋都, がんサバイバーの就業状況, 収入の変化に関する経験の実態とQOL・心の健康との関連. PalliativeCareResearch13(3): 209-218, 2018
9. 清水佐智子, 見たこと, 聞いたことを基にアセスメント, 看護実践を記録に残すために. 臨床看護記録27(6): 17-21. 2018
10. 新地洋之, 前村公成, 又木雄弘, 蔵原 弘, 川崎洋太, 夏越祥次, 【徹底解説!—臍頭十二指腸切除の手術手技】手術手技 腸消化管吻合 腸胃吻合 水平マットレス腸胃密着吻合 & 腸管胃粘膜吻合 (解説/特集). 臨床外科73(3): 314-318, 2018
11. 下吹越直子, 八代利香, ケアマネジャーの訪問看護導入の判断に影響する要因, 日本職業・災害医学会会誌66(4): 276-282, 2018

##### 【学会発表】

(和文)

1. 中尾有希, 瀧之上佳那, 川下兼太郎, 大江利奈, 徳田美穂, 島岡京美, 清水佐智子, 腎移植患者の内服管理に関する行動変容に繋がった看護師の関わりの検討, 第34回腎移植・血管外科研究会, 2018年2月 (鹿児島市)

## 業 績 目 録

2. 今村圭子, 山口さおり, 中俣直美, 田中久美子, 松成裕子, 基礎看護技術を学習する看護学生の自己教育力育成に関する検討, 日本看護研究学会第44回学術集会, 2018年8月(熊本)
3. 今村圭子, 山口さおり, 中俣直美, 田中久美子, 松成裕子, 看護実践能力を高める基礎看護技術の修得に関する課題, 第49回日本看護学会—看護教育—学術集会, 2018年8月(広島)
4. 吉永健嗣, 松成裕子, 日本における原子力災害医療体制に関する実態調査, 日本放射線看護学会第7回学術集会, 2018年9月(長崎)
5. 福田桃子, 松成 裕子, 今村圭子: 放射線災害サマーセミナーでの学びがもたらす放射線災害に対する参加学生の認識の変化過程とその影響, 日本放射線看護学会第7回学術集会, 2018年9月(長崎)
6. 西本大策, 兒玉慎平, 李慧瑛, 嶺崎俊郎, 看護師のバーンアウトに影響を及ぼす二次元レジリエンス要因の分析, 第77回日本公衆衛生学会総会, 2018年10月(福島)
7. 今村圭子, 松成裕子: 看護基礎教育における研究の動向とその状況—過去5年間の研究報告の分析—, 日本看護研究学会第23回九州・沖縄地方会学術集会, 2018年11月(長崎)
8. 松成裕子, 今村圭子: 日本における原子力災害医療体制の変遷に関する文献調査, 日本看護研究学会第23回九州・沖縄地方会学術集会, 2018年11月(長崎)

### 【報告書】

1. 今村圭子: 平成29年度九州がんプロ全体研修会に参加して, 新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン平成29年度九州がんプロ全体研修会報告書, 14-16.
2. 土橋仁美, 松成裕子: 原子力災害拠点病院としての当院の課題と取り組みについて, 鹿児島大学地域防災教育研究センター平成29年度報告書, 43-50, 2018年3月.
3. 松成裕子, 吉永健嗣: 鹿児島県における原子力災害医療体制整備のための事業—日本における原子力災害医療体制に関する実態調査—, 鹿児島大学地域防災教育研究センター平成29年度報告書, 89-96, 2018年3月.

### 【講演】

1. 八代利香, 倫理的配慮. 公益社団法人鹿児島県看護協会 平成29年度実習指導者講習会, 2018年1月(鹿児島)
2. 八代利香, 学生が抱く臨地実習における倫理的ジレンマ. 平成29年鹿児島大学医学部保健学科看護学専攻・鹿児島大学病院臨床指導者合同会議, 2018年3月(鹿児島)
3. 八代利香, 看護実践における倫理. 公益社団法人鹿児島県看護協会 平成30年度認定看護管理者ファーストレベル教育課程, 2018年8月(鹿児島)
4. 八代利香, 国内外におけるへき地医療の現状と看護職の役割. 静岡県立大学看護学部 平成30年度研究科「特別講義」・看護学部「最新看護の動向」, 2018年11月(静岡市)
5. 八代利香, 看護師のもつ倫理的課題・倫理カンファレンスの実際. 鹿児島大学病院 平成30年度特定分野ジェネラリスト(Gナース)育成研修, 2018年11月(鹿児島)
6. 八代利香, Act Locally and Think Globally: Island Nursing and International Nursing (in English). 鹿児島大学医学部 国際セミナー, 2018年11月(鹿児島)
7. 八代利香, "Rural and Island Healthcare" with Berea College and Chung-Ang University (in English). 鹿児島大学 US-Kagoshima-Asia Trial Program in Multi-Polar World Kick-off Symposium, 2018年12月(鹿児島)
8. 小西恵美子, 原点回帰して考える看護の心と看護の価値. 第21回北日本看護学会学術集会 基調講演, 2018年8月(山形)
9. 新地洋之, 胆嚢のお話—とくに胆石症・胆嚢ポリープの診断・治療について—. 第196回 三州病院健康教室, 都城市, 4月24日, 2018.
10. 新地洋之, 周術期管理について. 種子島医療センター勉強会. 西之表市, 8月31日, 9月21日, 10月19日, 11月30日, 2018.
11. 松成裕子, 鹿児島市原子力災害対策図上訓練研修会 講師, 2018年1月(鹿児島市)
12. 松成裕子, 鹿児島市原子力災害対策図上訓練第2回作業部会研修会 講師, 2018年1月(鹿児島市)
13. 松成裕子, 鹿児島県看護協会「放射線災害時における看護」(講師), 2018年2月(鹿児島市)
14. 松成裕子, 防災ワークショップ「原子力災害時の防災」, (総合司会), 2018年2月(鹿児島市)
15. 松成裕子, 鹿児島県医師会「災害医療講習会: 原子力災害」(講師), 2018年3月(鹿児島市)
16. 松成裕子, 特定分野ジェネラリスト(Gナース)育成研修, 鹿児島大学医学部歯学部附属病院, (講師) 2018年6月(鹿児島市)

## 業 績 目 録

17. 松成裕子, 日本看護学校協議会, 第30回学会, シンポジウム「専門職連携教育の考え方について」(講師), 2018年8月(鹿児島市)
18. 清水佐智子, 平成29年度研修会 看護がみえる看護記録. 鹿児島県看護協会, 2017年10月(鹿児島市)
19. 清水佐智子, 出前授業 命を支える看護師の役割—聴くということ—. 鹿児島県立川内高等学校, 2018年7月(薩摩川内市)
20. 清水佐智子, 出前授業 命を支える看護師の役割—聴くということ—. 鹿児島県立加世田高等学校, 2018年7月(南さつま市)
21. 清水佐智子, M4エンド・オブ・ライフケアにおける倫理的問題. M6コミュニケーション. ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム. 鹿児島大学病院, 2018年8月(鹿児島市)
22. 清水佐智子, 出前授業 命を支える看護師の役割—聴くということ—. 鹿児島県立国分高等学校, 2018年8月(霧島市)
23. Sachiko Shimizu, Nursing Education standards and Accreditation in Japan. 2018 International conference. Kyungpook National University College of Nursing, 2018.12(Daegu, South Korea)
24. 中俣直美: 鹿児島県臨床指導者研修会 講義「実習指導の原理Ⅱ」, 鹿児島県看護協会, 2018.1.15,17日(全6時間)
25. 中俣直美: 喀痰吸引概説, 健康状態の把握, 経管栄養概説, 喀痰吸引・経管栄養の実習, 特定認証交付のための喀痰吸引等講習会, 日本ALS協会鹿児島県支部, 2018.1.27,28(鹿児島市), 5.12,13(鹿児島市), 9.8,9(与論町), 全3回
26. 中俣直美: 吸引・胃ろうケア講義・演習, 3号研修(医療ケア)更新研修・家族以外の介護者の吸引講習会, 日本ALS協会鹿児島県支部主催, 2018.2.4,3.11,5.20,7.1,11.18(鹿児島市), 7.29(西之表市), 9.14,15(奄美市), 10.13(薩摩川内市), 10.28(鹿屋市)計10回
27. 中俣直美: 大学で学ぶということ～看護教育の歴史, 看護研究を通して考える～, 放送大学鹿児島学習センター, 鹿児島市, 2018.2.25
28. 中俣直美: 看護研究の進め方・まとめ方(グループ指導)全9回, 鹿児島市医師会病院看護部研修, 鹿児島市, 2017.3.27～12.25
29. 中俣直美: 在宅における喀痰の吸引について, 池田病院勉強会, 社会医療法人 童仁会 池田病院, 鹿児島市, 2018.6.27
30. 中俣直美: 実習指導の原理, 臨床指導者研修会, 鹿児島大学病院看護部, 2018.8.22
31. 中俣直美: 喀痰吸引概説, 特別支援学校における特定認証交付のための喀痰吸引等講習会, 鹿児島県教育庁義務教育課特別支援教育, 鹿児島市, 2018.8.23
32. 中俣直美, 今村圭子, 山口さおり: 喀痰吸引・経管栄養の実習, 特別支援学校における特定認証交付のための喀痰吸引等講習会, 鹿児島県教育庁義務教育課特別支援教育, 鹿児島市, 2018.8.24
33. 中俣直美: ALS療養者の現況, 鹿児島大学医学部保健学科公開講座「在宅ALS(筋萎縮性側索硬化症)療養者の支援」鹿児島市, 2018.9.1
34. 中俣直美, 今村圭子, 田中久美子, 山口さおり, 白橋有人, 押川大輔, 加藤智子, 富宿靖代, 山中希世美, 吉永健嗣: 在宅人工呼吸器装着患者のケアに必要な看護技術, 鹿児島大学医学部保健学科公開講座「在宅ALS(筋萎縮性側索硬化症)療養者の支援」, 鹿児島市, 2018.9.1
35. 山口さおり: 看護過程概論, 平成30年度看護職対象研修「看護実践のプロセスⅡ」, 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院看護部, 2018.6.29
36. 今村圭子, 国保診療施設看護師研修会, 鹿児島市, 2018.6.22

### (その他)

1. 新地洋之, 第118回日本外科学会定期学術集会. ポスターセッション(49)「膵臓—予後・その他」, 東京都, 4月5日, 2018.
2. 新地洋之, 第30回日本肝胆膵外科学会・学術集会. Debate Session 1 Pancreatico-Enteric vs. Pancreatico-Gastric Anastomosis for Soft Pancreatic Texture, よこせい横浜市, 6月8日, 2018.
3. 新地洋之, 第49回日本膵臓学会大会. 一般演題 術後合併症1, 和歌山市, 6月29日, 2018.
4. 新地洋之, 第73回日本消化器外科学会総会. 一般演題(デジタルポスター283)膵臓: 膵消化管吻合1, 鹿児島市, 7月13日, 2018.
5. 新地洋之, 第45回日本膵切研究会. ポスターセッション5 Conversion surgery, 札幌市, 8月25日, 2018.
6. 新地洋之, 第13回膵癌術前治療研究会. ランチョンセミナー「膵癌治療戦略—新たな時代の幕開け—」, 福岡市, 10月6日, 2018.
7. 新地洋之, 第12回 鹿児島がん診療セミナー. 特別講演Ⅰ「膵癌化学療法～難治がんに対する nab-paclitaxel の貢献」, 鹿児島市, 10月26日, 2018.

## 業 績 目 録

8. 新川哲子, 浦田秀子, 山田裕美子, 井手貴浩, 松成裕子, 今村圭子: 原子力災害拠点病院看護師の原子力災害に備えるための教育プログラムの検討, 日本災害看護学第20回年次大会, 交流集会, 神戸市, 2018.8.11.
9. 松成裕子, 浦田秀子, 新川哲子, 吉田浩二, 富澤登志子, 今村圭子: 看護学教育モデル・コア・カリキュラムにおける放射線看護に関する学修目標とその教授内容について, 日本看護研究学会第44回学術集会, 交流集会, 熊本市, 2018.8.18.
10. 松成裕子, 今村圭子, 新川哲子, 浦田秀子, 金丸由美子, 岡村美帆, 牧谷美佳: 長さ衣原爆投下時における看護師宮崎トミホ氏の看護活動を振り返り, その偉大な功績を偲ぶ, 日本放射線看護学会第7回学術集会, 交流集会, 長崎市, 2018.9.8.

### 〔成育看護学講座〕

#### 【論文著書】

##### (著書)

1. 井上尚美, 母性看護学Ⅱマタニティサイクル 改訂第2版(大平光子, 井上尚美, 大月恵美子, 佐々木くみ子, 林ひろみ 編 南江堂, 東京) p.135-238, 2018
2. 若松美貴代, 産婦健康診査事業のフローチャート・多職種連携のための判断基準, (鹿児島県産婦人科医会, 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科健康科学専攻社会・行動医学講座精神機能病学分野, 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科健康科学専攻生殖病態生理学, 鹿児島大学医学部保健学科看護学専攻成育看護学講座 編) 鹿児島県産婦人科医会発行, 2018

##### (和文論文)

1. 山田茜弥, 鶴田有紗, 江田みゆき, 富田裕子, 片岡望美, 鯖江玲華, 南良子, 中尾優子, 口唇形成術直後の児に付き添う母親の思いと看護師に求める支援. 鹿児島県母性衛生学会誌22: 6-12, 2018
2. 津留見美里, 兒玉慎平, 中尾優子, 冷え取り靴下着用による身体温度および主観的感觉の変化. 母性衛生59(2): 441-448, 2018
3. 根路銘安仁, ヒトパピローマウイルスワクチン学習前後の医学部1年生の認識変化. 鹿児島県母性衛生学会誌22: 1-5, 2018
4. 山本直子, 中尾優子, 大石和代, 35歳以上の母親がどのようにして母乳栄養を継続できたのか?—母乳栄養開始から終了までの縦断的研究—. 母性衛生58(4): 625-632, 2018
5. 山本直子, 水野昌美, 平成29年度学術交流協力締結校学生交流プログラム参加報告—韓国中央大学校赤十字大学との交流—. 鹿児島大学医学部保健学科紀要28(1): 47-53, 2018
6. 福留清博, 山口さおり, 李慧瑛, 井上尚美, 森隆子, 松田史代, 吉満孝二, 柳田信彦, 赤崎安昭, 保健学科ホームページのアクセス解析. 鹿児島大学保健学科紀要 vol.28(1): 69-75, 2018.
7. 若松美貴代, 中村雅之, 春日井基文, 肝付洋, 小林裕明, 妊娠期からの周産期メンタルヘルス支援と今後の課題. 鹿児島大学保健学科紀要28(1): 21-30, 2018
8. 田中一枝, 久本香菜, 猪目安里, 岡村玲奈, 佐藤ひかり, 柴尾美琴, 萬歳優美, ニュージーランドにおける助産師の自立と助産師教育に関する報告. 鹿児島大学医学部保健学科紀要28(1): 41-46, 2018

#### 【英文論文】

1. Tomita Yoshihito, Arima Kazuhiko, Tsujimoto Ritsu, Kawashiri Shin-ya, Nishimura Takayuki, Mizukami Satoshi, Okabe Takuhiro, Tanaka Natsumi, Honda Yuzo, Izutsu Kazumi, Yamamoto Naoko, Ohmachi Izumi, Kanegae Mitsuo, Abe Yasuyo, Aoyagi Kiyoshi, Prevalence of fear of falling and associated factors among Japanese community-dwelling older adult. Medicine 97(4):e9721.doi: 10.1097/MD.00000000000009721.

#### 【学会発表】

1. 佐藤ひかり, 吉留厚子, 軽度から中程度の知的障害がある男児をもつ母親の性に関する思い, 第59回日本母性衛生学会学術集会, 2018年10月(新潟)
2. 尾山智美, 吉留厚子, 小児在宅医療における訪問看護ステーションの現状, 第59回日本母性衛生学会学術集会, 2018年10月(新潟)
3. 竹井寛暁, 軯こずえ, 岩下純, 山下晴美, 島岡京美, 中尾優子, 山田俊保, 生活援助が必要となったレシピエントと暮らすドナーの思い, 第51回日本臨床腎移植学会, 2018年2月(神戸)

## 業 績 目 録

4. 上蘭志歩, 星原恵, 児玉さつき, 東なつき, 羽生のどか, 川田絵美, 上野沙希, 岡元杏樹, 中尾優子, 切迫早産で入院した妊婦の思い, 第31回鹿児島県母性衛生学会学術集会, 2018年9月(鹿児島市)
5. 萬歳優美, 中尾優子, 田中一枝, 周産期に触知する乳房のしこりに対する助産師の意識, 第59回日本母性衛生学会学術集会, 2018年10月(新潟)
6. 藤重佑梨, 中尾優子, 母子分離状況下における母乳育児支援, 第59回日本母性衛生学会学術集会, 2018年10月(新潟)
7. 村野陽菜, 中尾優子, 口唇口蓋裂児をもつ母親の心理の変遷～出生前から口蓋手術まで～, 第59回日本母性衛生学会学術集会, 2018年10月(新潟)
8. 鶴川千佳, 中尾優子, 口唇口蓋裂児の授乳の実態, 第59回日本母性衛生学会学術集会, 2018年10月(新潟)
9. 根路銘安仁, 山本直子, 水野昌美, 田中一枝, 若松美貴代, 井上尚美, 河野嘉文, キャリア男性およびそのパートナーとなる女性が結婚に際しHTLV-1情報が現状で十分得られるか～看護学生への模擬状況下での回答から～, 第65回日本小児保健学術集会, 2018年6月(鳥取)
10. 根路銘安仁, 第5回日本HTLV-1学会学術集会市民公開シンポジウム, HTLV-1母子感染予防対策マニュアル改訂とキャリアマザーへ必要なサポート, 2018年9月(東京)
11. 根路銘安仁, 山本直子, 水野昌美, 田中一枝, 若松美貴代, 井上尚美, HTLV-1 Western Blot 法判定保留・PCR 法陰性でも母子感染した1例, 第59回日本母性衛生学会学術集会, 2018年10月(新潟)
12. 山本直子, 水野昌美, 根路銘安仁, 中尾優子, 医療的ケア児を育てている母親が抱える近隣者との繋がりに関する思い, 第59回日本母性衛生学会学術集会, 2018年10月(新潟)
13. 柳田優依, 井上尚美, 性の健康問題に関わる看護師に求められる能力からみた看護学生の実態に関する文献検討, 第59回日本母性衛生学会学術集会, 2018年10月(新潟)
14. 水谷真央, 井上尚美, 分娩による看護職のやりがい感に影響する要因の検討, 第59回日本母性衛生学会学術集会, 2018年10月(新潟)
15. 戸崎緑, 松山真澄美, 松下友香, 飯田ひとみ, 山城佳織, 若松美貴代他, 育児カンファレンスの現状と課題, 鹿児島県母性衛生学会学術集会, 2018年9月(鹿児島市)

### 【講演】

1. 吉留厚子, 看護研究の評価, 鹿児島県立大島病院, 2018年2月(奄美市)
2. 吉留厚子, 看護研究指導, 鹿児島県立大島病院, 2018年6月(奄美市)
3. 吉留厚子, リーダーシップ, 鹿児島大学病院, 2018年10月(鹿児島市)
4. 中尾優子, 若い世代のやる気スイッチはどこにあるのか? 押してみましようか? 良い看護師になるために必要なスキルを身につける, 鹿児島大学公開講座, 2018年7月(鹿児島市)
5. 中尾優子, 看護研究における統計処理, 聖フランシスコ病院, 2018年8月(長崎)
6. 中尾優子, 母乳理論, 鹿児島県助産師会研修会, 2018年8月(鹿児島市)
7. 中尾優子, 看護研究活動の支援, 鹿児島県看護協会研修会, 2018年9月(鹿児島市)
8. 中尾優子, 認定看護師としての相談・指導のスキルを学ぶ, 平成30年度県立病院認定看護師ネットワーク会研修会, 2018年11月(鹿児島市)
9. 根路銘安仁, HTLV-1の各感染経路対策の課題, 鹿児島県 HTLV-1対策協議会講演, 2018年1月(鹿児島市)
10. 根路銘安仁, 新生児・乳児のアセスメントとケア 小児の発達時期に必要な知識, 潜在助産師再就業支援セミナー, 2018年2月(鹿児島市)
11. 根路銘安仁, 私たちに何ができるのか? 小児科医から見た虐待とそこからみえてきたもの, 第106回鹿児島子どもの虐待問題研究会, 2018年3月(鹿児島市)
12. 根路銘安仁, 「遺伝学」から「ゲノム学」の時代に助産師にもとめられること, 鹿児島大学公開講座, 2018年6月(鹿児島市)
13. 根路銘安仁, 愛着障害と発達障害, 鹿児島県助産師会 ケアスキルアップ研修, 2018年7月(鹿児島市)
14. 根路銘安仁, 遺伝／ゲノム学の時代に助産師教育で伝えたいこと, 平成30年度全国助産師教育協議会九州・沖縄地区会議, 2018年8月(鹿児島市)
15. 根路銘安仁, 保健衛生・安全対策, 出水地区保育士のキャリアアップ研修, 2018年8月(出水市)
16. 根路銘安仁, 妊娠期からの虐待予防のために「つなぐ」「つながる」地域, 東部子育て世代包括支援センター地域連携協議会, 2018年8月(鹿児島市)

## 業 績 目 録

17. 根路銘安仁, 小児科医から子育て中の方に伝えたいこと. 第30回こども健康セミナー, 2018年9月(鹿児島市)
18. 根路銘安仁, 平知的障がい概要. 成30年度中級障がい者スポーツ指導員養成講習会, 2018年9月(鹿児島市)
19. 根路銘安仁, 聴覚障がい概要. 平成30年度中級障がい者スポーツ指導員養成講習会, 2018年9月(鹿児島市)
20. 根路銘安仁, 発達段階に合わせた子育て. 指宿市子育てサポーター養成講座, 2018年11月(指宿市)
21. 山本直子, イイヤヤ期をうまく乗り切るためには. 生涯学習県民大学講座, 2018年6月(出水市)
22. 山本直子, 新生児期からのスキンケア. 鹿児島県助産師研修会, 2018年6月(鹿児島市)
23. 山本直子, 乳児期からスキンケア. 訪問看護ステーションほほえみ職員研修, 2018年8月(奄美市)
24. 井上尚美, 助産倫理. 平成29年度新人助産師合同研修会鹿児島県看護協会, 2018年2月(鹿児島市)
25. 井上尚美, いのちの誕生 いのちについて考える. 鹿児島市立桜丘中学校 性に関する指導, 2018年2月(鹿児島市)
26. 井上尚美, 良い看護師になる為に必要なスキルを身に付けよう 今のままで大丈夫? ~目標管理とキャリアパスで未来を照らそう~. 鹿児島大学公開講座, 2018年6月(鹿児島市)
27. 井上尚美, 今, 私たちが伝えたい, 伝えなければならない性とは. 鹿児島県助産師会「いのちの出前講座」研修会, 2018年8月(鹿児島市)
28. 井上尚美, 女性と子どもの健やかな生と性を支援する一予期しない妊娠への対応一. 鹿児島県くらし保健福祉部子ども家庭課平成30年度女性健康相談従事者研修会, 2018年10月(鹿児島市)
29. 井上尚美, 母性看護学・助産学 いのちの誕生に寄り添う看護の魅力. 鹿児島県立大島高等学校 出前授業, 2018年10月(奄美市)
30. 井上尚美, 「いのちを育むところとからだ」自分も人も大切にできる関わりとは. 公益社団法人鹿児島県看護協会看護の出前授業 鹿児島市立緑丘中学校, 2018年11月(鹿児島市)
31. 井上尚美, いのちを育む性~大人への準備~. 鹿児島市立南中学校 性に関する指導講座, 2018年11月(鹿児島市)
32. 井上尚美, いのちの誕生 いのちについて考える. 鹿児島市立皇徳寺中学校 性に関する指導, 2018年12月(鹿児島市)
33. 若松美貴代, 周産期メンタルヘルス支援~3つの質問紙を使って~. 母子訪問指導研修会すこやかふれあいプラザ, 2018年2月(薩摩川内市)
34. 若松美貴代, 周産期のメンタルヘルス支援~今後の行政の動きを見据えて~. 鹿児島大学大学院助産学コース臨床指導者会, 2018年3月(鹿児島市)
35. 若松美貴代, 周産期のメンタルヘルス支援. 平成29年度 母性保健事業関係者研修会, 2018年3月(鹿児島市)
36. 若松美貴代, 第1回 周産期メンタルヘルス支援. 愛育病院研修会, 2018年3月(鹿児島市)
37. 若松美貴代, いまどきのママの産後の不安と困りごとに寄り添うために. 霧島市すこやか保健センター 母子保健推進委員研修会, 2018年5月(鹿児島市)
38. 若松美貴代, 産後のメンタルヘルス・EPDS 活用法について. フィオーレ第一病院, 2018年5月(始良市)
39. 若松美貴代, 産婦健康診査事業実施に伴う精神科・産婦人科第2回合同研修. 鹿児島県医師会館, 2018年6月(鹿児島市)
40. 若松美貴代, 産婦健康診査事業実施に伴う精神科・産婦人科第3回合同研修. 鹿児島県医師会館, 2018年8月(鹿児島市)
41. 若松美貴代, 第2回 周産期メンタルヘルス支援. 愛育病院, 2018年9月(鹿児島市)
42. 若松美貴代, 周産期メンタルヘルスケア~3つの質問紙を使って~. 徳之島徳州会病院, 2018年9月(鹿児島市)
43. 若松美貴代, 妊娠から考える周産期メンタルヘルス. 鹿児島大学公開講座 助産師の専門実践のために必要な知識・スキル, 2018年9月(鹿児島市)
44. 若松美貴代, 母体・胎児の健康診査. 平成30年度新人助産師研修会, 鹿児島県看護協会, 2018年12月(鹿児島市)
45. 若松美貴代, 産後うつ病を含めた産褥精神障害の管理. 鹿児島市域精神科疾患医療連携体制研究会, 2018年10月(鹿児島市)
46. 田中一枝, 今日から使える授乳姿勢. 鹿児島大学公開講座 助産実践の専門実践のために必要な知識・スキル, 2018年10月(鹿児島市)

### 〔地域包括看護学講座〕

#### 【論文著書】

#### (著書)

1. 兒玉慎平, 10 情報管理. 改訂版 看護管理と医療安全 (大島弓子, 飯島佐知子編著, 一般社団法人 放送大学教育振興会, 東京) p.169-185, 2018

## 業 績 目 録

### (和文論文)

1. 田口朋子, 久松美佐子, 野中弘美, 金子美千代, 丹羽さよ子, 施設入所高齢者のケアニーズに関する研究, 鹿児島大学医学部保健学科紀要, 28(1): 83-91, 2018
2. 久松美佐子, 堤由美子, 福崎伊豆美, 化学療法により生存期間が延長できた進行がん患者の配偶者の死別前後の体験の分析, 日本看護研究学会雑誌, 41(5): 923-934, 2018
3. 津留見美里, 兒玉慎平, 中尾優子, 冷え取り靴下着用による身体温度および主観的感覚の変化, 母性衛生, 59(2): 441-448, 2018
4. 村上江利子, 森隆子, 兒玉慎平, 波多野浩道, 小学生に対する身体活動の行動変容のためのパンフレットの介入効果, 帝京大学福岡医療技術学部紀要, 1: 73-84, 2018
5. 稻留直子, 丸谷美紀, 離島における発達障害児を持つ母親の子どもの受入れと地域風土との関連, 島嶼研究, 19(1): 1-14, 2018

### (英文論文)

1. Horioze Y, Takasaki K, Miyata M, Chaen H, Kubota K, Mizukami N, Yuasa T, Kisanuki A, Ohishi M, Analysis of biphasic right ventricular outflow doppler waveform in patients with pulmonary hypertension. , International Heart Journal, 2018 (Epub ahead of print)
2. Harumi Arai I, Fumi Hayashi, Mami Ueda, Misako Hisamatsu, Study of Schizophrenic Patients Suffering from Cancer at Mental Hospitals in Prefecture A. , Int J Ment Health Psychiatry, 4(2): 71-75, 2018

### 【学会発表】

#### (和文)

1. 金子美千代, 丹羽さよ子, 「地域での暮らしを最期まで支える人材養成」の課題, 第38回日本看護科学学会学術集会, 2018年12月 (島根)
2. 高崎州亜, 樋口公嗣, 小島聡子, 川添晋, 窪田琢郎, 堀添善尚, 湯浅敏典, 木佐貫彰, 宮田昌明, 大石充, 兄弟で異なる病勢進行を示したベッカー型筋ジストロフィーによる二次性心筋症の2症例, 日本超音波医学会第27回九州地方会, 2017年12月 (鹿児島市)
3. 奥井英樹, 高崎州亜, 湯浅敏典, 堀添善尚, 茶園秀人, 大石充, 木佐貫彰, 湯乃上真吾, 小林沙織, 前之園隆一, WPW 症候群に伴う上室性頻拍の出現を暴く!, 日本超音波医学会第27回九州地方会, 2017年12月 (鹿児島市)
4. 奥井英樹, 高崎州亜, 湯浅敏典, 堀添善尚, 茶園秀人, 宮田昌明, 大石充, 木佐貫彰, 水上尚子, 大園七瀬, 心タンポナーデにおける電気的交互脈の発生機序, 日本超音波医学会第27回九州地方会, 2017年12月 (鹿児島市)
5. 茶園秀人, 湯浅敏典, 堀添善尚, 内山奈美, 水上尚子, 高崎州亜, 宮田昌明, 木佐貫彰, 大石充, 当院における非典型的なこつば型心筋症症例の検討, 日本超音波医学会第27回九州地方会, 2017年12月 (鹿児島市)
6. 堀添善尚, 高崎州亜, 茶園秀人, 水上尚子, 湯浅敏典, 宮田昌明, 木佐貫彰, 井本浩, 大石充, ペースメーカースクリーインリードによる右室穿孔の1例, 日本超音波医学会第27回九州地方会, 2017年12月 (鹿児島市)
7. 内山奈美, 堀添善尚, 茶園秀人, 窪田佳代子, 水上尚子, 高崎州亜, 湯浅敏典, 木佐貫彰, 大石充, 肺高血圧症例における右房圧の推定に吸気時大静脈径および下大静脈 collapsibility index は有用である, 日本超音波医学会第27回九州地方会, 2017年12月 (鹿児島市)
8. 大園七瀬, 水上尚子, 湯之上真吾, 小林沙織, 前之園隆一, 高崎州亜, 湯浅敏典, 木佐貫彰, 大石充, CT 画像と fusion させた心エコー検査が有用であった術後大動脈仮性瘤の一例, 日本超音波医学会第27回九州地方会, 2017年12月 (鹿児島市)
9. 堀添善尚, 高崎州亜, 宮田昌明, 窪田佳代子, 水上尚子, 湯浅敏典, 木佐貫彰, 大石充, Analysis of biphasic right ventricular outflow Doppler waveform in patients with pulmonary hypertension; estimation of pulmonary vascular resistance, 第82回日本循環器学会学術集会, 2018年3月 (大阪)
10. 水上尚子, 大園七瀬, 湯之上真吾, 小林沙織, 前之園隆一, 堀添善尚, 茶園秀人, 湯浅敏典, 高崎州亜, 木佐貫彰, 大石充, チーム医療セッションシンポジウム5. 経胸壁心エコー法における3D 対応探触子を2D 画像に活かす日本超音波検査学会-日本循環器学会ジョイントシンポジウム, 経胸壁3D 心エコー法を活かす, 第82回日本循環器学会学術集会, 2018年3月 (大阪)
11. 水上尚子, 大園七瀬, 湯之上真吾, 小林沙織, 前之園隆一, 野口慶久, 堀添善尚, 高崎州亜, 湯浅敏典, 木佐貫彰, パネルディスカッション循環器5ER で求められる心血管超音波検査 ER における血管エコー, 日本超音波医学会第91回学術集会, 2018年6月 (兵庫)

## 業 績 目 録

12. 水上尚子, 大園七瀬, 湯之上真吾, 小林沙織, 前之園隆一, 野口慶久, 堀添善尚, 高崎州亜, 湯淺敏典, 木佐貫彰, より精度の高い弁逆流の定量評価: 僧帽弁逆流を中心に, 日本超音波医学会第91回学術集会, 2018年6月(兵庫)
13. 濱元裕喜, 堀添善尚, 湯淺敏典, 高崎州亜, 木佐貫彰, 大石充, キアリ網に癒着する多量の血栓を認めた肺塞栓症の1例, 第124回日本循環器学会九州地方会, 2018年6月(鹿児島市)
14. 湯淺敏典, 濱元裕喜山下誠, 堀添善尚, 水上尚子, 木佐貫彰, 大石充, 僧帽弁逆流の増悪と僧帽弁形態変化を経時的に観察しえた僧帽弁逸脱症の1例, 日本超音波医学会第28回九州地方会学術集会, 2018年10月(福岡)
15. 小玉博子, 堤由美子, 急性期病院に勤務する看護師の在宅療養移行支援力に関わる要因の分析, 日本看護研究学会第23回九州・沖縄地方会学術集会, 2018年11月(長崎)
16. 石川志保, 堤由美子, 看護師の中堅期までの看護実践能力獲得に関わる体験の分析, 第38回日本看護科学学会学術集会, 2018年12月(愛媛)
17. 塩満多華子, 堤由美子, 卵巣がん再発により外来治療を受ける患者の地域における生活体験の分析, 第38回日本看護科学学会学術集会, 2018年12月(愛媛)
18. 小原めぐみ, 堤由美子, 急変による緊急入院で短期間に亡くなった患者家族の体験の質的分析, 第38回日本看護科学学会学術集会, 2018年12月(愛媛)
19. 西田伊豆美, 久松美佐子, 堤由美子, 緩和化学療法を受けたがん患者の配偶者の治療中止時の体験, 第38回日本看護科学学会学術集会, 2018年12月(愛媛)
20. 久松美佐子, 西田伊豆美, 堤由美子, 延命目的化学療法を受けたがん患者の配偶者の予期悲嘆に影響する要因, 第38回日本看護科学学会学術集会, 2018年12月(愛媛)
21. 前田則子, 丹羽さよ子, 堤由美子, 久松美佐子, 高齢者福祉施設におけるBPSDのある利用者へのチームケア上の困難感: リーダー介護職の語りから, 第38回日本看護科学学会学術集会, 2018年12月(愛媛)
22. 西本大策, 兒玉慎平, 李慧瑛, 嶽崎俊郎, 看護師のバーンアウトに影響を及ぼす二次元レジリエンス要因の分析, 第77回日本公衆衛生学会総会, 2018年10月(福島)
23. 荒井春生, 植田麻実, 久松美佐子, がんを合併した統合失調症患者を取り巻く看護師と精神保健福祉士の連携の現状, 第23回日本緩和医療学会学術大会, 2018年6月(神戸)

(英文)

1. Maenosono R, Ichiki H, Mizukami N, Iriki Y, Okui H, Namino F, Yunoue S, Kobayashi S, Nakamura Y, Oozono N, Masamoto I, Horizoe Y, Yuasa T, Kisanuki A, Ohishi M, Hashiguchi T, Total atrial conduction time may be the predictor of atrial fibrillation recurrence after catheter ablation for paroxysmal atrial fibrillation: Relationship between the time-course of electrical atrial remodeling and structural atrial remodeling. Asian Pacific Heart Rhythm Society (APHRS) 2018, 2018年10月(Taipei, Taiwan)

### 【報告・書評】

1. 森隆子, 日本ルーラルナース学会第12回学術集会(鹿児島奄美大会)ワークショップ報告, 日本ルーラルナース学会, 13: 32-37, 2018
2. 森隆子, 「『離島の保健師一狭さとながりをケアする』青木さき里著, 青土社」, 島嶼研究, 19(1): 103-104, 2018

### 【講演】

1. 丹羽さよ子, 教育課程(老年看護). 平成29年度実習指導者講習会, 鹿児島県看護協会, 2018年1月(鹿児島市)
2. 丹羽さよ子, リハビリテーションを目指したケア. 平成29年度公益財団法人慈愛会看護職・介護福祉士・看護助手者合同研修, 2018年3月(鹿児島市)
3. 丹羽さよ子, 看護研究の基礎. 社団法人鹿児島県済済会南風病院看護部研修, 2018年8月(鹿児島市)
4. 丹羽さよ子, 量的データの解析法. 社団法人鹿児島県済済会南風病院看護部研修, 2018年8月(鹿児島市)
5. 堤由美子, メンタルヘルスマネジメント. 鹿児島県新人看護職員研修実地指導者研修会, 2018年1月&2月(鹿児島市)
6. 堤由美子他, がん患者の心の軌跡. 鹿児島がん看護研究会, 2018年1月(鹿児島市)
7. 堤由美子, ストレスマネジメント. 相良病院新人職員研修会, 2018年4月(鹿児島市)
8. 堤由美子, 新人看護師のセルフストレスマネジメント. 鹿児島大学病院看護部新人研修, 2018年6月(鹿児島市)
9. 堤由美子, 看護のナラティブ. 鹿児島医療センター看護部研修会, 2018.7月(鹿児島市)



## 業 績 目 録

10. 堤由美子, ストレスマネジメントのできる人材育成. 鹿児島県新人看護職員研修責任者研修, 2018年7月(鹿児島市)
11. 堤由美子, G ナース研修: 優れた看護実践. 鹿児島大学病院看護部研修, 2018年7月(鹿児島市)
12. 堤由美子, がん患者の心の軌跡に寄り添うケアを求めて. 鹿児島医療センターエキスパートナース研修会, 2018年7月(鹿児島市)
13. 堤由美子, 人材育成の基礎知識. 日本看護協会鹿児島県支部ファーストレベル研修会, 2018年9月(鹿児島市)
14. 堤由美子, ALS 患者の障害受容と患者家族の精神ケア. 鹿児島大学医学部保健学科公開講座, 2018年9月(鹿児島市)
15. 堤由美子, 危機的状態の患者・家族の看護. 慈愛会今村病院・分院・谷山病院看護部研修会, 2018年9月(鹿児島市)
16. 堤由美子, 心の病いと看護. いのちの電話ボランティア養成講座, 2018年9月(鹿児島市)
17. 堤由美子他, 意思決定支援の根底にあるもの. 平成30年度島嶼・地域ナース育成プログラム“地域での暮らしを最後まで支える”第5回シンポジウム, 2018年9月(鹿児島市)
18. 堤由美子, 看護研究のまとめ方. 日本精神看護技術協会鹿児島県支部研修会, 2017年11月(鹿児島市)
19. 米増直美, 鹿屋市新任保健師個別面接研修, 2018年3月(鹿屋市)
20. 米増直美, 鹿児島市新任保健師研修会 集合研修(通年4回), 個別面接研修(通年6回), 2018年(鹿児島市)
21. 米増直美, 業務研究について, 鹿児島市中堅前期(6年目)保健師研修, 2018年8月(鹿児島市)
22. 兒玉慎平, 質の高い看護研究をめざして—研究計画と概念枠組み—. 第51回鹿児島県保健看護研究学会, 2018年1月(鹿児島市)
23. 兒玉慎平, 看護研究. 国立病院機構指宿医療センター看護部研修(通年4回), 2018年(指宿市)
24. 兒玉慎平, 質の高い看護研究をめざして—研究計画と概念枠組み—. 鹿児島大学病院看護部研修, 2018年6月(鹿児島市)
25. 兒玉慎平, 情報テクノロジー(情報検索). 鹿児島県看護協会 認定看護管理者制度ファーストレベル講習, 2018年8月(鹿児島市)
26. 兒玉慎平, レポートの書き方. 鹿児島県看護協会 認定看護管理者制度ファーストレベル講習, 2018年8月(鹿児島市)
27. 森隆子, 看護研究の基礎. 鹿児島県訪問看護ステーション協議会研究発表会, 2018年2月(鹿児島市)
28. 稻留直子, 鹿児島市新任保健師個別研修トレーナー(通年6回), 2018(鹿児島市)

### 【その他】

1. 堤由美子, 日本看護研究学会第44回学術集会, 第17群精神看護座長, 2018年8月(熊本)
2. 堤由美子, 日本看護研究学会第23回九州・沖縄地方学術集会, 第2群臨床看護・災害看護座長, 2018年11月(長崎)
3. 米増直美, 鹿児島県介護給付費等審査委員会委員, 2018
4. 米増直美, 鹿児島県公衆衛生学会審査委員, 2018
5. 米増直美, 鹿児島県看護協会保健師職能委員, 2018
6. 兒玉慎平, 日本看護科学学会等検専門査読委員, 2018
7. 森隆子, 平成30年度鹿児島県訪問看護ステーション協議会研究アドバイザー, 2018

## 〔理学療法学専攻〕

### 【論文著書】

#### (著書)

1. 樋口逸郎, 脳血管性認知症, 理学療法士のための知っておきたい! 認知症知識 Q&A (牧迫飛雄馬 編 医歯薬出版株式会社, 東京) p10-11, 2018
2. 青木正志, 樋口逸郎, 日下博文, 梶 龍児, 山下賢, 村田顕也, 森まどか, 西野一三, 封入体筋炎 診療の手引き(難治性疾患等政策研究事業 希少難治性筋疾患に関する調査研究班 封入体筋炎(分科会 編 日本神経学会, 東京) p1-27, 2018
3. 牧迫飛雄馬, Q1認知症の有病率はどのくらいですか, 理学療法士のための知っておきたい! 認知症知識 Q & A (島田裕之 監 牧迫飛雄馬 編 医歯薬出版, 東京) p2-3, 2018
4. 牧迫飛雄馬, Q60軽度認知障害の定義を教えてください, 理学療法士のための知っておきたい! 認知症知識 Q & A (島田裕之 監 牧迫飛雄馬 編 医歯薬出版, 東京) p126-127, 2018

## 業 績 目 録

5. 牧迫飛雄馬, フレイルを理解する 1. フレイルとは? フレイルのみかた (荒井秀典 編 中外医学社, 東京) p2-8, 2018
6. 牧迫飛雄馬, Q19リハビリテーションについて教えてください, サルコペニア30のポイント 高齢者への適切なアプローチをめざして (関根理恵, 小川純人 編 フジメディカル出版, 大阪) p101-105, 2018

### (和文論文)

1. 藤村成剛, 臼杵扶佐子, 永野匡昭, 中村 篤, 沖田 実, 樋口逸郎, メチル水銀中毒の予防及び治療に関する基礎研究. 国立水俣病総合研究センター年報 38(7): 11-15, 2018
2. 牧迫飛雄馬, 第 I 章 高齢者の特性を理解する～生理機能の加齢変化～ 9. 生活機能. 特集高齢者医療ハンドブック—高齢者医療におけるダイバーシティへの対応. 臨床雑誌内科 121(4): 610-613, 2018
3. 牧迫飛雄馬, 運動による身体活動向上と認知症予防. 理学療法の科学と研究 9(1): 3-6, 2018
4. 山田誠, 石原田秀一, 大渡昭彦, 介護予防の総合事業にみる行動選択と代替プログラムの設計. 飯島コンセプト「ナッジ」の行動経済学と「気晴らし」の遊びを手がかりにして. 鹿児島大学法文学部紀要「経済学論集」90: 45-64, 2018
5. 川田将之, 木山良二, 牧迫飛雄馬, 窪蘭琢郎, ウェアラブルセンサーを用いた臨床応用可能な歩行トレーニングシステムの開発. 若手研究者のための健康科学研究助成成果報告書 33: 72-76, 2018
6. 松田史代, ペルー国立リハビリテーションセンターにおけるこれまでの活動成果. 鹿児島大学医学部保健学科紀要 第28巻61-68, 2018

### (英文論文)

1. Yoshida T, Yoshida M, Mitsuyo K, Jonosono M, Higuchi I, Dropped Head Syndrome and the Presence of Rimmed Vacuoles in a Muscle Biopsy in Scleroderma-polymyositis Overlap Syndrome Associated with Anti-Ku Antibody. Intern Med, 57(6): 887-891, 2018
2. Sumizono M, Sakakima H, Otsuka S, Terashi T, Nakanishi K, Ueda K, Takada S, Kikuchi K, The effect of exercise frequency on neuropathic pain and pain-related cellular reactions in the spinal cord and midbrain in a rat sciatic nerve injury model. J Pain Res, 7(11): 281-291, 2018
3. Kikuchi K, Setoyama K, Terashi T, Sumizono M, Tancharoen S, Otsuka S, Takada S, Nakanishi K, Ueda K, Sakakima H, Kawahara KI, Maruyama I, Hattori G, Morioka M, Tanaka E, Uchikado H, Application of a Novel Anti-Adhesive Membrane, E8002, in a Rat Laminectomy Model. Int J Mol Sci, 19(5). pii: E1513, 2018
4. Akihiro S, Taira Y, Maeda K, Natsume K, Sakakima H. Feasibility and effectiveness of home-based exercise programs on physical performance and health-related quality of life of the older people dwelling on an isolated, doctor-less island. Geriatr Gerontol Int, 18(9): 1313-1317, 2018
5. Makizako H, Shimada H, Doi T, Tsutsumimoto K, Hotta R, Nakakubo S, Makino K, Lee S, Social frailty leads to the development of physical frailty among physically non-frail adults: A four-year follow-up longitudinal cohort study. Int J Environ Res Public Health, 15(3). pii: E490, 2018
6. Makizako H, Tsutsumimoto K, Shimada H, Arai H, Social frailty among community-dwelling older adults: Recommended assessments and implications. Ann Geriatr Med Res, 22(1): 3-8, 2018
7. Makizako H, Shimada H, Hotta R, Doi T, Tsutsumimoto K, Nakakubo S, Makino K, Associations of traffic near-miss incident with attention and executive function among Japanese older drivers. Gerontology, 64(5): 495-502, 2018
8. Doi T, Makizako H, Tsutsumimoto K, Nakakubo S, Kim MJ, Kurita S, Hotta R, Shimada H, Transitional status and modifiable risk of frailty in Japanese older adults: A prospective cohort study. Geriatr Gerontol Int, 18(11): 1562-1566, 2018
9. Nakakubo S, Makizako H, Doi T, Tsutsumimoto K, Hotta R, Lee S, Bae S, Makino K, Suzuki T, Shimada H, Long and short sleep duration and physical frailty in community-dwelling older adults. J Nutr Health Aging, 22(9): 1066-1071, 2018
10. Tsutsumimoto K, Doi T, Makizako H, Hotta R, Nakakubo S, Makino K, Suzuki T, Shimada H, Cognitive frailty is associated with fall-related fracture among older people. J Nutr Health Aging, 22(10): 1216-1220, 2018
11. Shimada H, Doi T, Lee S, Makizako H, Chen LK, Arai H, Cognitive frailty predicts incident dementia among community-dwelling older people. J Clin Med, 7(9).pii: E250, 2018
12. Nakakubo S, Doi T, Shimada H, Ono R, Makizako H, Tsutsumimoto K, Hotta R, Suzuki T, The association between excessive daytime sleepiness and gait parameters in community-dwelling older adults: Cross-sectional findings from the Obu Study of Health Promotion for the Elderly (OSHPE). J Aging Health, 30(2): 213-228, 2018

## 業績目録

13. Nakakubo S, Doi T, Makizako H, Tsutsumimoto K, Hotta R, Kurita S, Kim M, Suzuki T, Shimada H, Association of walk ratio during normal gait speed and fall in community-dwelling elderly people. *Gait Posture*, 66: 151–154, 2018
14. Shimada H, Makizako H, Lee S, Doi T, Lee S, Lifestyle activities and the risk of dementia in older Japanese adults. *Geriatr Gerontol Int*, 18(10): 1491–1496, 2018
15. Tsutsumimoto K, Doi T, Makizako H, Hotta R, Nakakubo S, Makino K, Suzuki T, Shimada H, Aging-related anorexia and its association with disability and frailty. *J Cachexia Sarcopenia Muscle*, 9(5): 834–843, 2018
16. Bae S, Lee S, Lee S, Harada K, Makizako H, Park H, Shimada H, Combined effect of self-reported hearing problems and social activities on incident disability in Japanese older adults: A population-based longitudinal study. *Maturitas*, 115: 51–55, 2018
17. Doi T, Makizako H, Tsutsumimoto K, Hotta R, Nakakubo S, Makino K, Suzuki T, Shimada H, Combined effects of mild cognitive impairment and slow gait on risk of dementia. *Experimental Gerontology*, 10: 146–150, 2018
18. Uemura K, Makizako H, Lee S, Doi T, Lee S, Tsutsumimoto K, Shimada H, The impacts of sarcopenia on incident homebound status among community-dwelling older adults: a prospective cohort study. *Maturitas*, 113: 26–31, 2018
19. Tsutsumimoto K, Doi T, Makizako H, Hotta R, Nakakubo S, Kim M, Kurita S, Suzuki T, Shimada H, Social frailty has a stronger impact on the onset of depressive symptoms than physical frailty or cognitive impairment: A 4-year follow-up longitudinal cohort study. *J Am Med Dir Assoc*, 19(6): 504–510, 2018
20. Shimada H, Makizako H, Tsutsumimoto K, Doi T, Lee S, Suzuki T, Cognitive frailty and incidence of dementia in older persons. *J Prev Alzheimers Dis*, 5(1): 42–48, 2018
21. Hotta R, Makizako H, Doi T, Tsutsumimoto K, Nakakubo S, Makino K, Suzuki T, Shimada H, Healthy behaviors and incidence of disability in community-dwelling elderly. *Am J Health Behav*, 42(1): 51–58, 2018
22. Doi T, Makizako H, Tsutsumimoto K, Hotta R, Nakakubo S, Makino K, Suzuki T, Shimada H, Association between insulin-like growth factor-1 and frailty among older adults. *J Nutr Health Aging*, 22(1): 68–72, 2018
23. Hotta R, Makizako H, Doi T, Tsutsumimoto K, Nakakubo S, Makino K, Shimada H, Cognitive function and unsafe driving acts during an on-road test among community-dwelling older adults with cognitive impairments. *Geriatr Gerontol Int*, 18(6): 847–852, 2018
24. Uemura K, Makizako H, Lee S, Doi T, Lee S, Tsutsumimoto K, Shimada H, Behavioral protective factors of increased depressive symptoms in community-dwelling older adults: a prospective cohort study. *Int J Geriatr Psychiatry*, 33(2): e234–e241, 2018
25. Makino K, Makizako H, Doi T, Tsutsumimoto K, Hotta R, Nakakubo S, Suzuki T, Shimada H, Impact of fear of falling and fall history on disability incidence among older adults: prospective cohort study. *Int J Geriatr Psychiatry*, 33(4): 658–662, 2018
26. Shimada H, Makizako H, Doi T, Park H, Tsutsumimoto K, Verghese J, Suzuki T, Effects of combined physical and cognitive exercises on cognition and mobility in patients with mild cognitive impairment: A randomized clinical trial. *J Am Med Dir Assoc*, 19(7): 584–591, 2018
27. Lee S, Lee S, Bae S, Harada K, Harada K, Jung S, Imaoka M, Makizako H, Doi T, Park P, Shimada H, Relationship between chronic kidney disease without diabetes mellitus and components of frailty in community-dwelling Japanese older adults. *Geriatr Gerontol Int*, 18(2): 286–292, 2018
28. Kikuchi K, Setoyama K, Tanaka E, Otsuka S, Terashi T, Nakanishi K, Takada S, Sakakima H, Ampawong S, Kawahara KI, Nagasato T, Hosokawa K, Harada Y, Yamamoto M, Kamikokuryo C, Kiyama R, Morioka M, Ito T, Maruyama I, Tancharoen S, Uric acid enhances alteplase-mediated thrombolysis as an antioxidant. *Sci Rep*, 8(1): 15844, 2018
29. Kawada M, Hata K, Kiyama R, Maeda T, Yone K, Biomechanical characterization of slope walking using musculoskeletal model simulation. *Acta Bioeng Biomech*, 20(1): 117–125, 2018

### 【学会発表】

(和文)

1. 河村一郎, 山元拓哉, 石堂康弘, 精松昌彦, 富永博之, 米和徳, 小宮節郎, 頸椎部びまん性特発性骨増殖症における嚥下障害と頸椎可動域制限の検討, 第47回日本脊椎脊髄病学科学術集会, 2018年4月(神戸)
2. 富永博之, 河村一郎, 田辺史, 米和徳, 谷口昇, 化膿性脊椎炎後インストルメント設置の指標としての術中病理検査を用いた一例, 第98回西日本脊椎研究会, 2018年6月(福岡)
3. 井出貴之, 富永博之, 河村一郎, 米和徳, 谷口昇, 頸胸椎移行部に発生した明細胞髄膜腫の一例, 第90回西日本脊椎研究会, 2018年11月(福岡)
4. 富永博之, 河村一郎, 井尻幸成, 精松昌彦, 米和徳, 谷口昇, 背髄髄膜腫の長期術後成績, 第90回西日本脊椎研究会, 2018年

## 業 績 目 録

11月（福岡）

5. 神里尚美, 仲地耕, 妹尾洋, 橋口昭大, 樋口逸郎, 高嶋博, 急性進行性の経過を示したミトコンドリア・ミオパチーの一例, 第3回パーキンソン病・運動障害疾患コンgresプログラム, 2018年7月（京都）
6. 橋口昭大, 兒玉憲人, 樋口逸郎, 高嶋博, ネマリン小体を伴う炎症性ミオパチーの14例の比較検討, 日本筋学会第4回学術集会, 2018年7月（倉敷）
7. 兒玉憲人, 臼元亜可理, 樋口雄二郎, 橋口昭大, 樋口逸郎, 高嶋博, Caveolin-3の部分欠損を認めたミトコンドリア異常を伴う多発筋炎の一例, 日本筋学会第4回学術集会, 2018年7月（倉敷）
8. 渡部真志, 近藤総一, 岡本憲省, 樋口逸郎, 三森経世, 濱口儒人, 血管炎所見はないもののPR3-ANCA陽性を伴った抗NXP2抗体陽性皮膚筋炎の1例, 第105回日本神経学会中国・四国地方会, 2018年12月（松山）
9. 則松貢輔, 角園恵, 大塚章太郎, 高田聖也, 寺師拓斗, 中西和毅, 上田昇希, 鶴留寿人, 榊間春利, 整形外科疾患を有する地域在住高齢者の1日の身体活動量について, 第31回鹿児島県理学療法士学会, 2018年3月（始良市）
10. 上村明子, 則松貢輔, 榊間春利, 鶴留寿人, 運動器疾患を有する地域在住高齢者の身体活動量に関する因子の検討, 2018年10月（北九州）
11. 高田聖也, 大塚章太郎, 中西和毅, 則松貢輔, 板敷裕喜, 谷明, 菊池清志, 吉田義弘, 榊間春利, 外傷性脳損傷後の病態にミッドカイン遺伝子の欠損が与える影響, 第3回基礎理学療法学会夏の学校, 2018年8月（名古屋）
12. 中西和毅, 大塚章太郎, 高田聖也, 榊間春利, 運動は加齢による運動機能低下や海馬グリア細胞の活性化を抑制する, 第3回基礎理学療法学会夏の学校, 2018年8月（名古屋）
13. 大塚章太郎, 高田聖也, 中西和毅, 板敷裕喜, 則松孝輔, 谷明, 榊間春利, 脳梗塞発症前予防運動による脳虚血耐性の獲得について, 第17回形態機能学会, 2018年9月（佐賀）
14. 高田聖也, 大塚章太郎, 中西和毅, 則松貢輔, 板敷祐樹, 谷明, 吉田義弘, 榊間春利, 外傷性脳損傷後における神経栄養因子ミッドカインの働き, 第17回形態機能学会, 2018年9月（佐賀）
15. 則松貢輔, 角園恵, 大塚章太郎, 高田聖也, 中西和毅, 鶴留寿人, 榊間春利, 整形外科疾患を有した地域在住高齢者における身体活動の特徴について, 第17回形態機能学会, 2018年9月（佐賀）
16. 谷明, 中西和毅, 高田聖也, 則松孝輔, 大塚章太郎, 榊間春利, Draw-inと頭部挙上による, 外腹斜筋, 内腹斜筋, 腹横筋の筋厚変化, 第17回形態機能学会, 2018年9月（佐賀）
17. 中西和毅, 大塚章太郎, 高田聖也, 榊間春利, 運動は加齢による運動機能低下や海馬グリア細胞の活性化を抑制する, 第17回形態機能学会, 2018年9月（佐賀）
18. 榊間春利, 大塚章太郎, 高田聖也, 中西和毅, 則松貢輔, 谷明, 宮崎雅司, 鶴留寿人, 運動器疾患を有する地域在住高齢者の身体活動量の特徴, 九州理学療法士・作業療法士合同学会2018 in 沖縄, 2018年10月（沖縄）
19. 竹下直樹, 下村珠美, 田河久苗, 田丸智章, 木村玲央, 藤川寿史, 澁谷菜美 (Ns), 宮崎雅司, 榊間春利, 井尻幸成, JOAB-PEQを用いた腰部疾患に対する水中運動教室の効果, 九州理学療法士・作業療法士合同学会2018 in 沖縄, 2018年10月（沖縄）
20. 藤川寿史, 木村玲央, 宮崎雅司, 高田聖也, 中西和毅, 榊間春利, 井尻幸成, 座位における脊柱保持の筋活動に2 way stretchが及ぼす影響, 九州理学療法士・作業療法士合同学会2018 in 沖縄, 2018年10月（沖縄）
21. 上田晃希, 宮崎雅司, 藤川寿史, 高田聖也, 中西和毅, 榊間春利, MRIを用いたL4/5腰椎変性すべり症患者のすべりの程度と椎間関節水腫に関する研究, 藍6回日本運動器理学療法学会学術大会, 2018年12月（福岡）
22. 大塚章太郎, 高田聖也, 中西和毅, 板敷裕喜, 則松孝輔, 谷明, 榊間春利, 脳梗塞発症前運動による脳虚血耐性の獲得と脳梗塞後の14-3-3 $\gamma$ 発現を介したアポトーシス抑制, 第23回日本基礎理学療法学会学術大会, 2018年12月（京都）
23. 宇都良大, 林尚美, 平賀真雄, 木山良二, 大重匡, 2型糖尿病患者における末梢神経障害が下腿筋に与える影響, 第2回日本呼吸・心血管・糖尿病理学療法学会合同学術大会, 2018年7月（横浜）
24. 富岡一俊, 宮崎宣丞, 竹下康文, 園田耕一, 加治智和, 桑波田聡, 安部智, 竹中俊宏, 窪蘭琢郎, 牧迫飛雄馬, 大石充, 垂水研究からみた地方高齢者の運動習慣と血圧—パイロット・スタディから見えてきたもの—, 第7回高血圧フォーラム, 2018年5月（京都）
25. 牧迫飛雄馬, 窪蘭琢郎, 木山良二, 竹中俊宏, 桑波田聡, 田平隆行, 鹿屋勉, 堀之内貢子, 島田裕之, 大石充, 高齢者の社会的フレイルと骨格筋量, 握力との関連, 第60回日本老年医学会学術集会, 2018年6月（京都）
26. 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 牧野圭太郎, 堤本広大, 中窪翔, 島田裕之, うつ徴候および軽度記憶低下を有する高齢者に対する運動および菜園介入によるランダム化比較試験, 第60回日本老年医学会学術集会, 2018年6月（京都）
27. 宮崎宣丞, 木山良二, 牧迫飛雄馬, 川田将之, 中井雄貴, 米和徳, 窪蘭琢郎, 竹中俊宏, 大石充, 地域在住高齢者の歩行時の

## 業 績 目 録

- 体幹加速度・角度と身体特性や転倒との関連, 第60回日本老年医学会学術集会, 2018年6月(京都)
28. 川畑孟子, 桑波田聡, 竹中俊宏, 川島吉博, 大重剛志, 安部智, 牧迫飛雄馬, 赤崎雄一, 窪菌琢郎, 大石充, 垂水地域における高齢高血圧患者の特徴—垂水研究からの報告—, 第124回日本純化に学会九州地方会, 2018年6月(鹿児島市)
  29. 上村征央, 桑波田聡, 川島吉博, 大重剛志, 川畑孟子, 牧迫飛雄馬, 窪菌琢郎, 安部智, 竹中俊宏, 大石充, 垂水地域における独居高齢者の特徴—垂水研究(2017年度パイロット研究)からの報告—, 第322回日本内科学会九州地方会, 2018年8月(大分)
  30. 丸田道雄, 韓僑熙, 吉満孝二, 牧迫飛雄馬, 田平隆行, 地域在住独居高齢者における心の理論課題成績と社会参加との関連, 第52回日本作業療法学会, 2018年9月(名古屋)
  31. 富岡一俊, 牧迫飛雄馬, 加治智和, 桑波田聡, 安部智, 竹中俊宏, 窪菌琢郎, 大石充, 地域在住高齢者における高血圧予防と身体活動, 第3回九州高血圧・循環器病予防研究会, 2018年9月(福岡)
  32. 富岡一俊, 牧迫飛雄馬, 木山良二, 谷口善昭, 桑波田聡, 竹中俊宏, 窪菌琢郎, 大石充, 地域在住高齢者における精神・認知機能とサルコペニアとの関連, 第5回日本地域理学療法学会学術大会, 2018年12月(神奈川)
  33. 谷口善昭, 牧迫飛雄馬, 富岡一俊, 木山良二, 窪菌琢郎, 大石充, 地域在住高齢女性における骨粗鬆症と握力 歩行速度 筋量との関係, 第5回日本地域理学療法学会学術大会, 2018年12月(神奈川)
  34. 川路勇太, 福留清博, 岡崎美英江, 福永陽平, 戌亥啓一, 中村美紅, 秦一貴, 西智洋, 有村公良, 大勝秀樹, 健康成人の口唇閉鎖力と握力との関係, 第19回日本言語聴覚学会, 2018年06月(富山)
  35. 原田雄大, 大渡昭彦, 上川百合恵, 吉田輝, 下堂蘭恵, 霊長類脳梗塞モデルによる長期観察および慢性期リハビリテーション医療の研究, 第55回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2018年6月(福岡)
  36. 宮良広大, 河村健太郎, 松元秀次, 大渡昭彦, 板敷裕喜, 上間智博, 池田恵子, 下堂蘭恵, 脳卒中片麻痺下肢痙縮への全身振動刺激(Whole Body Vibration)直後における足背屈自動運動時の皮質活性化の変化, 近赤外分光法を用いた検討, 第16回日本神経理学療法学会学術大会, 2018年11月(大阪)
  37. 宮崎宣丞, 木山良二, 牧迫飛雄馬, 川田将之, 中井雄貴, 米和徳, 窪菌琢郎, 竹中俊宏, 大石充, サルコペニアや運動器疾患を有する地域在住高齢者の歩行中の体幹・下肢の角度, 第60回日本老年医学会, 2018年6月(京都)
  38. 宮崎宣丞, 木山良二, 川田将之, 中井雄貴, 米和徳, ウェアラブルセンサーを用いた歩行時の Trailing Limb Angle と推進力の評価の妥当性の検討, 第23回日本基礎理学療法学会学術大会, 2018年12月(京都)
  39. 川田将之, 木山良二, 中井雄貴, 宮崎宣丞, 米和徳, 筋骨格モデルシミュレーションを用いた歩行中の膝関節側方安定性に関する研究, 第23回日本基礎理学療法学会学術大会, 2018年12月(京都)
  40. 中井雄貴, 川田将之, 宮崎宣丞, 木山良二, 井尻幸成, 股関節内外旋運動が体幹筋に及ぼす影響, 第23回日本基礎理学療法学会学術大会, 2018年12月(京都)
  41. 前田敏也, 川田将之, 通所リハ利用者の FBS 下位項目及び歩行時2重課題と ADL 自立度の関連, 九州理学療法士・作業療法士合同学会2018 in 沖縄, 2018年10月(沖縄)

(英文)

1. Kawamura I, Yamamoto T, Abematsu M, Tominaga M, Ishido Y, Yone K, Komiya S, Cervical alignment of anterior cervical hyperostosis causing dysphagia. 34<sup>th</sup> Annual Meeting of Cervical Spine Research Society-Europe Section, 2018年5月(Lisbon, Portugal)
2. Megumi Sumizono, Shotaro Otsuka, Takuto Terashi, Kazuki Nakanishi, Koki Ueda, Seiya Takada, Kosei Ijiri, Harutoshi Sakakima, Effects of treadmill exercise on neuropathic pain and pain-related cellular reactions in the spinal dorsal horn and midbrain in rat sciatic nerve injury model. 第41回日本神経科学大会, 2018年7月(神戸)
3. Takuto Terashi, Shotaro Otsuka, Seiya Takada, Kazuki Nakanishi, Koki Ueda, Megumi Sumizono, Harutoshi Sakakima, Neuroprotective effect of different frequency preconditioning exercise on down-regulation of Bax/Bcl-2 confers apoptosis after cerebral infarction in rats. 第41回日本神経科学大会, 2018年7月(神戸)
4. Kazuki Nakanishi, Shotaro Otsuka, Seiya Takada, Takuto Terashi, Koki Ueda, Megumi Sumizono, Harutoshi Sakakima, Exercise-induced hippocampal anti-inflammatory response in a senescence-accelerated mouse. 第41回日本神経科学大会, 2018年7月(神戸)
5. Makizako H, Kubozono T, Kiyama R, Tabira T, Shimada H, Doi T, Ohishi M, Associations of current driving status with social frailty and functional capacity among community-dwelling elderly. Asia Confederation for Physical Therapy Congress 2018, 2018年11月(Cebu, Philippine)
6. Makizako H, Kubozono T, Kiyama R, Takenaka T, Kuwahata S, Tabira T, Kanoya Y, Horinouchi K, Shimada H, Ohishi M. Associations of

## 業 績 目 録

social frailty with loss of muscle mass and weakness among community older adults. Gerontological Society of America (GSA) 2018 Annual Scientific Meeting, 2018年11月 ((Boston, USA)

7. Fumiyo Matsuda, Itsuro Higuchi, Kazunori Yone, The effect of regular physical activity of age-related cognitive behavior in the senescence-accelerated mice is associated with neuronal degeneration. 第41回日本神経科学大会, 2018年7月 (神戸)

### 【講演】

1. 米和徳, ロコモティブシンドロームと運動器不安定症, 平成30年度鹿児島県整形外科医会 運動器リハビリテーションセラピスト資格継続研修会, 2018年7月 (鹿児島市)
2. 米和徳, 腰痛の治療～保存療法を中心に～, 鹿児島整形外科学術講演会, 2018年8月 (鹿児島)
3. 米和徳, 労働者の腰痛の予防と治療, 指宿地区日医認定産業医研修会, 2018年8月 (指宿市)
4. 米和徳, 高齢者の運動器障害, 鹿児島大学医学部保健学科理学療法学専攻公開講座, 2018年8月 (鹿児島市)
5. 米和徳, 脊椎疾患における疼痛の治療, 大島郡医師会学術講演会, 2018年9月 (奄美市)
6. 米和徳, 運動器慢性疼痛の治療, 鹿児島市疼痛セミナー, 2018年10月 (鹿児島市)
7. 樋口逸郎, 内科系障害に対する運動療法, 鹿児島大学医学部保健学科理学療法学専攻公開講座, 2018年8月 (鹿児島市)
8. 榊間春利, 運動と脳神経保護, 第3回基礎理学療法学会 夏の学校 特別講演, 2018年8月 (愛知)
9. 大重匡, 内部障害に対する理学療法の進め方の基本, 日本理学療法士協会主催理学療法士講習会, 2018年8月 (鹿児島市)
10. 大重匡, 高齢者の介護方法, 鹿児島大学医学部保健学科理学療法学専攻公開講座, 2018年8月 (鹿児島市)
11. 大重匡, 内部障害に対する理学療法の進め方の基本, 日本理学療法士協会主催理学療法士講習会, 2018年11月 (福岡)
12. 牧迫飛雄馬, 効果的な高齢者の介護予防の実践について, 佐賀県リハビリテーション3団体協議会, 2018年12月 (佐賀)
13. 牧迫飛雄馬, 認知機能低下を予防するための身体活動とその効果, 日本健康運動士会, 2018年12月 (福井)
14. 牧迫飛雄馬, 今から始めよう！シニアの運動と地域デビューは介護予防の万能薬～運動と社会参加の有用性について～, 米原市介護予防市民講座, 2018年12月 (滋賀)
15. 牧迫飛雄馬, 認知機能低下予防プログラムの評価方法, 健康・体力づくり事業財団, 2018年11月 (東京)
16. 牧迫飛雄馬, 新しい認知機能低下予防コグニサイズ, ビバネット市民向け研修会, 2018年12月 (北海道)
17. 牧迫飛雄馬, 平成30年度たるみず元気プロジェクト結果に関する健康講和, 鹿児島県垂水市, 2018年11月 (垂水市)
18. 牧迫飛雄馬, サルコペニア・フレイルに対する運動療法の標準化, 第5回日本サルコペニア・フレイル学会大会, 2018年11月 (東京)
19. 牧迫飛雄馬, 社会的フレイルの評価意義と身体的側面からの予防対策, 第5回日本サルコペニア・フレイル学会大会, 2018年11月 (東京)
20. 牧迫飛雄馬, 認知機能低下を予防するための身体活動とその効果, 健康・体力づくり事業財団, 2018年11月 (大阪)
21. 牧迫飛雄馬, リハビリテーション領域における研究法, 平成30年度医療法人寿量会総合リハビリテーションセンター研修会, 2018年11月 (熊本)
22. 牧迫飛雄馬, 「脳」も「体」もずっと現役！～認知症予防をする生活の秘訣, 平成30年度認知症連続講座, 2018年10月 (滋賀)
23. 牧迫飛雄馬, サルコペニアに対する最新治療, 第26回日本物理療法学会, 2018年10月 (宮崎)
24. 牧迫飛雄馬, 日本予防理学療法領域が行うべき研究課題とその展望, 第5回予防理学療法学会, 2018年10月 (福岡)
25. 牧迫飛雄馬, 楽しくできる認知症予防～脳とからだを活発に～, 認知症市民フォーラム in うき2018, 2018年10月 (熊本)
26. 牧迫飛雄馬, エビデンスに基づいた脳の診方, 鍛え方, 第19回早期認知症学会, 2018年10月 (島根)
27. 牧迫飛雄馬, 身体的・認知的フレイルに対する評価と介入, 手稲溪仁会病院リハビリテーション部研修会, 2018年9月 (北海道)
28. 牧迫飛雄馬, 慢性疼痛の予防対策, 第23回日本ペインリハビリテーション学会学術大会, 2018年9月 (福岡)
29. 牧迫飛雄馬, フレイルの包括的な理解と介入, 第98回理学療法科学学会学術大会, 2018年9月 (福岡)
30. 牧迫飛雄馬, 臨床・疫学研究の推進～社会のニーズに応えた研究課題による学術と職能の融合～, 日本理学療法士協会, 2018年9月 (東京)
31. 牧迫飛雄馬, 臨床・疫学研究の推進～社会のニーズに応えた研究課題による学術と職能の融合～, 日本理学療法士協会, 2018年9月 (愛知)
32. 牧迫飛雄馬, 認知的フレイルとは？―概念・評価および身体活動との関連―, 第2回スポーツニューロサイエンス研究会, 2018年9月 (福井)

## 業 績 目 録

33. 牧迫飛雄馬, 認知症予防における理学療法, 平成30年度理学療法士講習会, 2018年9月(大分)
34. 牧迫飛雄馬, 知って得する! 介護予防・認知症予防のポイント, 介護予防普及啓発後援会, 2018年9月(伊佐市)
35. 牧迫飛雄馬, 介護予防・認知症予防のための運動療法, 鹿児島大学医学部保健学科理学療法学専攻公開講座, 2018年8月(鹿児島市)
36. 牧迫飛雄馬, 臨床・疫学研究の推進～社会のニーズに応えた研究課題による学術と職能の融合～, 日本理学療法士協会, 2018年8月(愛媛)
37. 牧迫飛雄馬, 臨床・疫学研究の推進～社会のニーズに応えた研究課題による学術と職能の融合～, 日本理学療法士協会, 2018年8月(福岡)
38. 牧迫飛雄馬, 臨床・疫学研究の推進～社会のニーズに応えた研究課題による学術と職能の融合～, 日本理学療法士協会, 2018年7月(大阪)
39. 牧迫飛雄馬, 臨床・疫学研究の推進～社会のニーズに応えた研究課題による学術と職能の融合～, 日本理学療法士協会, 2018年7月(岡山)
40. 牧迫飛雄馬, 老年症候群とリハビリテーション～認知症, フレイル, サルコペニアの評価と予防戦略, 第42回八幡リハビリテーションセミナー, 2018年7月(福岡)
41. 牧迫飛雄馬, 認知症予防の秘訣は運動と人とのつながり, 地域ネットワーク研修会, 2018年7月(肝属町)
42. 牧迫飛雄馬, フレイルや高齢者に関する理学療法, 平成30年第2回専門領域研修会トピックス領域研修会, 2018年7月(鹿児島市)
43. 牧迫飛雄馬, ロボットによる地域支援～理学療法士からの視点～, 第55回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2018年6月(福岡)
44. 牧迫飛雄馬, 運動による脳の制御—認知症予防のための運動～地域を支える理学療法士の役割として～, 福岡県理学療法士連盟, 2018年6月(福岡)
45. 牧迫飛雄馬, 高齢者の身体特性を考慮した機能評価と運動介入の実際, (社)宮崎県理学療法士会 内部障害研究部会, 2018年6月(宮崎)
46. 牧迫飛雄馬, 認知機能低下を予防するための身体活動とその効果, 健康・体力づくり事業財団, 2018年6月(大阪)
47. 牧迫飛雄馬, 運動により認知症予防～理論と実践～, 鹿児島市保健所, 2018年5月(鹿児島市)
48. 牧迫飛雄馬, 認知症に対する理学療法, 第53回日本理学療法学会大会研修大会, 2018年5月(茨城)
49. 牧迫飛雄馬, 認知機能低下を予防するための身体活動とその効果, 健康・体力づくり事業財団, 2018年5月(東京)
50. 牧迫飛雄馬, 今日からはじめる介護予防・認知症予防～基礎的な考え方と実践方法～, 鹿児島県理学療法士協会, 2018年3月(始良市)
51. 牧迫飛雄馬, 日英認知症会議・分科会デジタルテクノロジー, 第1回日英認知症会議, 2018年3月(東京)
52. 牧迫飛雄馬, 平成29年度 たるみず元気プロジェクト健康チェック結果を生活に活かした学習会, 垂水市保健課地域包括ケア係, 2018年3月(垂水市)
53. 牧迫飛雄馬, 認知症予防の理論と考え方, 鹿児島市中央保健センター, 2018年2月(鹿児島市)
54. 牧迫飛雄馬, 老化とフレイルについて, 四条畷学園短期大学・大学理学療法分科会研修会, 2018年2月(大阪)
55. 牧迫飛雄馬, 認知機能低下を予防する運動プログラム作成のポイント・実践, 公益財団法人体力づくり財団, 2018年1月(福岡)
56. 牧迫飛雄馬, 高齢者の認知機能障害と運動機能障害, 福岡記念病院, 2018年1月(福岡)
57. 大渡昭彦, 研究のすすめ～利用者にとって, 自分たちにとって, 本当に役立つ取り組みを目指して～, 小倉記念病院内研修, 2018年2月(鹿屋市)
58. 大渡昭彦, 介護予防で元気力アップ! 鹿児島よかよか体操講習会, 鹿児島市, 2018年2月(鹿児島市)
59. 大渡昭彦, 士会会員の質の強化への取り組み(研修事業のあり方), 日本理学療法士協会都道府県士会理事育成研修会, 2018年2月(東京)
60. 大渡昭彦, 地域で介護予防を展開するために～鹿児島の取り組み報告～, 社会医療法人玄州会院内研修, 2018年3月(長崎)
61. 大渡昭彦, よかよか体操で健康づくり, オアシスケアグループ研修会, 2018年3月(鹿児島市)
62. 大渡昭彦, 鹿児島よかよか体操の説明, 鹿児島市, 2018年3月(鹿児島市)
63. 大渡昭彦, 新人教育「臨床での心構え」, 鹿児島県理学療法士会, 2018年4月(鹿児島市)
64. 大渡昭彦, 看護領域における研究のすすめ, 小倉記念病院内研修, 2018年4月(鹿屋市)

## 業 績 目 録

65. 大渡昭彦, 新人教育「職業倫理」, 鹿児島県理学療法士会, 2018年7月8月(鹿児島市)
66. 大渡昭彦, 効果的な介護予防事業に必要な要件を考える, 鹿児島県健康づくり運動指導者講習会, 2018年8月(鹿児島市)
67. 大渡昭彦, よかよか体操の効果と留意点, 鹿児島市, 2018年10月(吉野町)
68. 大渡昭彦, よかよか体操の効果と留意点, 鹿児島市, 2018年10月(松元町)
69. 大渡昭彦, 士会会員の質の強化への取り組み, 日本理学療法士協会都道府県士会理事育成研修会, 2018年11月(東京)
70. 大渡昭彦, 木山良二, 理学療法士・作業療法士のためのやさしい生体力学, 鹿児島大学医学部保健学科基礎理学療法学講座公開講座, 2018年6月(鹿児島市)
71. 木山良二, よかよか元気クラブ, 鹿児島市保健所, 2018年2月(鹿児島市)
72. 松田史代, 転倒骨折予防教室講師, 2018年計4回(鹿児島市)
73. 松田史代, 脳性麻痺の理学療法, 鹿児島県盲学校, 2018年9月(鹿児島市)
74. 松田史代, 腰痛・側彎症, 鹿児島県盲学校, 2018年10月(鹿児島市)
75. 松田史代, 研究方法論, 鹿児島県理学療法士協会新人教育プログラム, 2018年10月11月(鹿児島市)
76. 松田史代, 身体障害, 鹿児島県初級障がい者スポーツ指導員講習会, 2018年8月(霧島市)
77. 松田史代, 障がい者スポーツと理学療法, 理学療法士向け中級障がい者スポーツ指導員講習会, 2018年9月(鹿児島市)

## 〔作業療法学専攻〕

### A. 著書

1. 窪田正大(分担執筆), やさしい高次脳機能障害用語辞典, (種村純 編, ぱーそん書房, 東京), 2018
2. 田平隆行, 認知症者のADL評価について教えてください, 理学療法士のための知っておきたい! 認知症知識Q & A (島田裕之 監, 牧迫飛雄馬 編, 医歯薬出版, 東京), p.92-93, 2018
3. 田平隆行, 回想法の具体的な方法や効果について教えてください, 理学療法士のための知っておきたい! 認知症知識Q & A (島田裕之 監, 牧迫飛雄馬 編, 医歯薬出版, 東京), p.106-107, 2018

### B. 論文

(英文論文)

1. Sagari A, Ikio Y T, Imamura N, Deguchi K, Sakai T, Tabira T, Higashi T., Effect of Occupation-Based Interventions in patients with Haematopoietic Malignancies undergoing Chemotherapy: A Pilot Randomised Controlled Trial, Hong Kong Journal of Occupational Therapy, doi.org/10.1177/1569186118818680, 2018
2. Makizako H, Kubozono T, Kiyama R, Takenaka T, Kuwahata S, Tabira T, Kanoya T, Horinouchi K, Shimada H, Ohishi M., Associations of social frailty with loss of muscle mass and muscle weakness among community-dwelling older adults. Geriatr Gerontol Int, 19(1): 76-80 doi: 10.1111/ggi.13571, 2018

(和文論文)

1. 赤崎安昭, 特集 精神鑑定—私の実践と提言 精神鑑定書作成の意義—鑑定人の育成に対する提言も含めて—, 臨床精神医学, 47 (11): 1293-1305, 2018
2. 上原健一, 吉満孝二, 平川智士, 斎野裕希, 田中茂穂, 萩原隆二: 独居高齢者のADL, IADLに関する研究. 鹿児島大学医学部保健学科紀要28: 93-99, 2018
3. 瀬戸山弘貴, 窪田正大, 八反丸健二, 反復性低頻度経頭蓋磁気刺激と集中的リハビリテーション併用療法後の主観的評価 (J A S M I D) からみた上肢運動機能の検討. 鹿児島大学医学部保健学科紀要 28(1): 101-108, 2018
4. 高橋弘樹, 丸田道雄, 韓侑熙, 宮田浩紀, 田平隆行, 精神的ストレスと注意要求のある身体運動が侵害受容情報処理過程に及ぼす影響. 作業療法37(6): 646-656, 2018
5. 田平隆行: 医療と地域における認知症施策と生活行為を中心とした作業療法介入ポイント. 作業療法鹿児島24: 2-6, 2018



## 業 績 目 録

6. 奈良進弘, 関本充史, 楠本直紀, 扇浩幸, 谷隆博, 地域高齢者における参加の評価: QCIQ (Quality of Community Integration Questionnaire) を用いた試み, 鹿児島大学医学部保健学科紀要28:109-117, 2018
7. 原有希, 窪田正大, 原口友子, 松本航, 堀ノ内啓介, 高田昌実, 社会的行動障害一症例に対する Goal management training (GMT) の試み, 鹿児島高次脳機能研究会会誌 29(1): 25-29, 2018
8. 福留清博, 山口さおり, 李 慧瑛, 井上尚美, 森 隆子, 松田史代, 吉満孝二, 柳田信彦, 赤崎安昭, 保健学科ホームページのアクセス解析, 鹿児島大学保健学科紀要, 28(1): 69-75, 2018.
9. 丸田道雄, 田平隆行, 牧迫飛雄馬, 韓旼熙, 吉満孝二, 中村篤, 窪蘭琢郎, 大石充, 地域在住独居高齢者における心の理論課題成績と社会参加との関連, 老年精神医学雑誌, (印刷中)
10. 丸田道雄, 田平隆行, 佐賀里昭, 宮田浩紀, 堀田牧, 吉満孝二, 韓旼熙, 高橋弘樹, 川越雅弘, BPSD 関連項目に該当する要支援高齢者の介護度悪化に関わる要因の検討, 保健医療学雑誌 10(1): 2018
11. 丸田道雄, 高橋弘樹, 韓旼熙, 宮田浩紀, 田平隆行, 課題内容の自己選択や外的報酬が事象関連電位 P300成分と反応時間に及ぼす影響, 作業療法37(5): 481-489, 2018
12. 持永博幸, 窪田正大, 小川大輔, 有島愛, 空間の位置関係からみた左半側空間無視患者のADLの特徴, 鹿児島高次脳機能研究会会誌 29(1): 9-13, 2018
13. 柳田信彦, 井上和博, 内野俊郎, 精神科病院入院中の統合失調症患者を対象とした簡易的な評価法による服薬アドヒアランス評価の試み, 鹿児島大学医学部保健学科紀要28:119-124, 2018

### C. 学会発表

1. 赤崎安昭, 森岡洋史, 井上和博, 柳田信彦, 山畑良蔵, 鑑定人の立場から見た精神遅滞者の「責任能力」—7つの着眼点に対する私見も含めて—, 第14回日本司法精神医学会大会, 平成30年6月(山口)
2. 赤崎安昭, 抑うつ状態の精神鑑定—責任能力判定のポイント—, 第114回日本精神神経学会大会ワークショップ, 平成30年6月(大阪)
3. 有川瑛人, 窪田正大, 原口友子, 潜在・顕在学習の過程とワーキングメモリとの関連性, 第28回認知リハビリテーション研究会, 2018年10月(東京)
4. 有馬雄太郎, 峯戸松衛, 柳田信彦, 児童思春期における精神科作業療法の役割—実践からの気づきと今後の展望—, 第29回鹿児島県作業療法学会, 2018年6月(鹿児島)
5. 井上和博, 柳田信彦, 赤崎安昭, 発達障害児の育児を行っている母親が抱えるストレスに関する研究(第2報)—健常児の育児を行っている母親との比較—, 第70回九州精神神経学会, 2018年1月(宮崎)
6. 井上和博, 奈良進弘, 井上恵子, 田中 洋, 幼児の遊びの発達—遊びのアンケート調査より—, 第32回鹿児島県小児保健学会, 2018年8月(鹿児島)
7. 井上和博, 柳田信彦, 赤崎安昭, 「発達支援」を必要とする子どもの行動特性に関する検討—作業療法士の立場から—, 第99回鹿児島県精神神経学会, 2018年12月(鹿児島)
8. 井料健勝, 吉満孝二, 田中茂穂, 萩原隆二, 高田昌実, 透析患者のADLは主観的健康感に影響する, 第8回日本腎臓リハビリテーション学会, 2018年3月(福島)
9. 内村栞, 井上和博, 築瀬誠, 幼児期発達障害児を持つ母親の精神健康状態とその関連要因に関する研究, 日本小児診療多職種研究会, 2018年11月(福岡)
10. 扇浩幸, 楠本直紀, 関本充史, 谷隆博, 奈良進弘, 地域在住の高齢者の社会参加・健康関連 QOL と環境要因—QCIQ・SF36と家族構成・公共交通機関利用との関係—, 第52回日本作業療法学会, 2018年9月(名古屋)
11. 小川耕平, 久留千幸, 井手上奈穂, 有川由華, 窪田正大, 注意障害とUSNが非麻痺側上肢機能へ与える影響について, 九州理学療法士・作業療法士合同学会2018 in 沖縄, 2018年10月(沖縄)
12. 佐賀里昭, 田平隆行, 丸田道雄, 宮田浩紀, 川越雅弘, 要支援高齢者の2年後の認定変化に及ぼす生活行為の要因について, 第52回日本作業療法学会, 2018年9月(名古屋)
13. 下木原俊, 丸田道雄, 吉満孝二, 上城憲司, 西田征治, 田平隆行, 医療介護施設における徘徊行動とその支援についての実態調査, 第12回日本作業療法研究学会, 2018年10月(埼玉)
14. 瀬戸山弘貴, 竹内直人, 中村裕樹, 中山千春, 吉田昇司, 窪田正大, 回復期リハビリテーション入院の運動器疾患患者における筋肉量低下と注意機能との関連性について, リハビリテーション・ケア合同研究大会 米子 2018, 2018年10月(鳥取)
15. 橘蘭佑真, 有蘭舞, 柳田信彦, 精神科訪問看護における多職種チームアプローチによるクライシスプラン導入の試み, 第29回

## 業 績 目 録

鹿児島県作業療法学会, 2018年6月(鹿児島)

16. 立山瑛子, 窪田正大, 瀬戸山弘貴, 本松逸平, 八反丸健二, 八反丸リハビリテーション病院におけるFIMを用いた脳血管疾患患者の予後予測—退院時FIMとのマイナス誤差の傾向について—, 第52回日本作業療法学会, 2018年9月(愛知)
17. 田平隆行, 丸田道雄, 吉満孝二, 小川敬之, 辻本貴志, 家村美里, 北原光一郎, 池田大, 石川智久, 吉浦和弘, 堀田牧, 池田学, 生活行為工程分析表による地域在住AD患者のIADL工程障害と残存の特徴, 第33回日本老年精神医学会, 2018年6月(福島)
18. 田平隆行, 丸田道雄, 小川敬之, 堀田牧, 池田学, 地域在住の独居AD患者におけるIADL工程障害と残存能力に関する研究, 第52回日本作業療法学会, 2018年9月(愛知)
19. 田平隆行, 牧迫飛雄馬, 吉満孝二, 丸田道雄, 池田由里子, 中村篤, 下木原俊, 徳田圭一郎, 竹中俊宏, 窪蘭琢郎, 大石充, 地域在住高齢者における墓参り行動と心身機能, 生活機能との関連, 第12回日本作業療法研究学会, 2018年10月(埼玉)
20. 中間賢二, 窪田正大, 八反丸健二, 回復期病棟入院中のADL半介助患者におけるIADL能力変化に関する研究, 回復期リハビリテーション病棟協会 第31回研究大会 in 岩手, 2018年2月(岩手)
21. 中間賢二, 窪田正大, 瀬戸山弘貴, 吉田昇司, 八反丸健二, 回復期リハビリテーション病棟における運動器疾患患者のIADL評価方法の検討, リハビリテーション・ケア合同研究大会 米子 2018, 2018年10月(鳥取)
22. 中村篤, 臼杵扶佐, 田平隆行, 胎児性・小児性水俣病認定患者の生活行為および心理的要因に関する調査, 第52回日本作業療法学会, 2018年9月(愛知)
23. 中村裕樹, 佐保郁恵, 下赤久美, 佐田直哉, 久保はるみ, 窪田正大, 回復期リハビリテーション病棟協会 第31回研究大会 in 岩手, 2018年2月(岩手)
24. 中山千春, 窪田正大, 瀬戸山弘貴, 本松逸平, 八反丸健二, 八反丸リハビリテーション病院におけるFIMを用いた運動器・脳血管疾患患者の予後予測—FIM重症度別の分析—, 第52回日本作業療法学会, 2018年9月(愛知)
25. Nobuhiro Nara, Naoki Kusumoto, Mistushi Sekimoto, Hiroyuki Ohgi, Takahiro Tani, Hisako Shinkawa, Examining the Paradoxical Relationship between Activity Participation and Satisfaction: A Participation Assessment of Elderly who Need Nursing Care Services at Home. The world Federation of Occupational Therapists Congress, 2018年5月(Cape Town, South Africa)
26. Nobuhiro Nara, Naoki Kusumoto, Mistushi Sekimoto, Hiroyuki Ohgi, Takahiro Tani, A discussion on the support for elderly's lives by their own values: from the viewpoint of social participation and health-related QOL. 1st International/5th Japanese congress of Clinical Occupational Therapy, 2018年7月(福岡)
27. 奈良進弘, 井上和博, 井上恵子, 田中 洋, 幼児の遊びの発達—1991年と2018年の遊びの調査の比較—, 第32回鹿児島県小児保健学会, 2018年8月(鹿児島)
28. 原有希, 窪田正大, 原口友子, 松本航, 堀ノ内啓介, 高田昌実, 社会的行動障害に対するGoal management Training (GMT)の試み, 第35回鹿児島高次脳機能研究会, 2018年4月(鹿児島)
29. 原有希, 窪田正大, 原口友子, 松本航, 堀ノ内啓介, 高田昌実, 社会的行動障害に一症例に対するGoal management Training (GMT)の試み, 第42回日本高次脳機能障害学会, 2018年12月(兵庫)
30. 韓侑熙, 丸田道雄, 中村篤, 吉満孝二, 田平隆行, 地域在住高齢者における心の理論課題成績の加齢変化, 第52回日本作業療法学会, 2018年9月(愛知)
31. 韓侑熙, 吉浦和宏, 堀田牧, 小山明日香, 田平隆行, 竹林実, 池田学, 橋本衛, アルツハイマー型認知症患者におけるMMSEの認知領域とADL自立度低下の関連, 第12回日本作業療法研究学会, 2018年10月(埼玉)
32. 平野順一, 築瀬誠, 井上和博, 柳田信彦, 古村水季, 精神障害者の家族のソーシャルサポート, 第52回日本作業療法学会, 2018年9月(愛知)
33. 平野順一, 築瀬 誠, 井上和博, 柳田信彦, 古村水季, 精神障害者を支える家族の健康状態とソーシャルサポートとの関連性について—家族支援を目的とした作業療法の可能性—, 九州理学療法士・作業療法士合同学会, 2018年10月(沖縄)
34. 深見志乃, 井上和博, 母親の特徴に合わせた支援により生活リズム・母子関係に変化が見られた事例, 第52回日本作業療法学会, 2018年9月(愛知)
35. 深見真也, 和田 清一, 井上和博, 支援が必要な子ども達へ作業療法士ができること—児童発達支援事業所における関わりから—, 第52回日本作業療法学会, 2018年9月(愛知)
36. 堀田牧, 村田美希, 吉浦和弘, 田平隆行, 石川智久, 田中響, 兼田桂一郎, 津野田尚子, 橋本衛, 池田学, 軽度認知症者の生活行為障害へのリハビリ介入から得られた「日常の過ごし方」の課題, 第33回日本老年精神医学会, 2018年6月(福島)
37. 堀田牧, 吉浦和宏, 村田美希, 田平隆行, 池田学: アルツハイマー病患者を対象とした生活行為自立評価尺度の考案と実用性

## 業 績 目 録

に関する研究。第52回日本作業療法学会，2018年9月（愛知）

38. 堀田牧，吉浦和宏，村田美希，田平隆行，石川智久，田中響，兼田桂一郎，津野田尚子，橋本衛，池田学，軽度AD患者の生活行為障害の特徴とAD-ADL評価表の実用性に関する考察。第37回認知症学会学術集会，2018年10月（北海道）
39. 丸田道雄，田平隆行，吉満孝二，佐賀里昭，宮田浩紀，堀田牧，川越雅弘，介護認定調査におけるBPSD関連項目と認知症高齢者日常生活自立度との関連。第33回日本老年精神医学会，2018年6月（福島）
40. 丸田道雄，韓侑熙，吉満孝二，牧迫飛雄馬，田平隆行，地域在住独居高齢者における心の理論課題成績と社会参加との関連。第52回日本作業療法学会，2018年9月（愛知）
41. 宮田浩紀，丸田道雄，佐賀里昭，田平隆行，川越雅弘，介護認定調査における要介護度別の行動心理症状の出現割合の特徴。第52回日本作業療法学会，2018年9月（愛知）
42. 柳田信彦，平野順一，古村水季，井上和博，築瀬誠，精神障害者を世話する家族の助けとなる要因～自由記述内容の分析～，九州理学療法士・作業療法士合同学会2018 in 沖縄，2018年10月（沖縄）
43. 築瀬誠，平野順一，柳田信彦，井上和博，古村水季，精神障害者の家族の健康状態，第52回日本作業療法学会，名古屋市，2018年9月（愛知）
44. 築瀬誠，平野順一，柳田信彦，井上和博，古村水季，精神障害者の家族の健康状態。日本作業療法学会，2018年9月（愛知）
45. 矢野幸治，田代直子，井上和博，地原千鶴，ADHDとASDの特性を併せ持つ低出生体重児に対する作業療法介入—注意機能に着目した視覚支援に関して—，九州理学療法士・作業療法士合同学会，2018年10月（沖縄）
46. 持永博幸，小川大輔，有島愛，窪田正大，空間の位置関係からみた左半側空間無視患者のADL障害の特徴，第35回鹿児島高次脳機能研究会，2018年4月（鹿児島）

### D. その他

#### 1) 論文・報告書

1. 赤崎安昭，「発達障害」と診断することに対する私見」鹿児島県医師会報，平成30年2月，第800号，48-49，2018.
2. 赤崎安昭，鹿児島人物誌，「公平・中立な考察が信念」，南日本新聞，15，平成30年5月
3. 赤崎安昭，「五月病に気付いたら専門医に相談」，（鹿児島産業保健総合支援センター）「さんぽ鹿児島」メールレター第171号，1-2，2017
4. 池田学，石川智久，田中響，北村立，川越雅弘，小川敬之，田平隆行，堀田聰子，堀田牧，村田美希，吉浦和宏，厚生労働科学研究費補助金長寿科学政策研究事業，生活行為障害の分析に基づく認知症リハビリテーションの標準化に関する研究，平成28年度総括・分担研究報告書，p44-49，2017年3月
5. 田平隆行，吉満孝二，丸田道雄ほか，平成29年度介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会事業，認知症の見守り4報告書，認知症の人の徘徊予測と屋内での安全な徘徊を見守るための支援機器開発に関する検討，日本作業療法士協会，2018年3月
6. 築瀬誠，平野順一，柳田信彦，井上和博，古村水季，調査報告書 No.5 「家族の健康状態とソーシャルサポート」，NPO法人かれん鹿児島，2018年3月

#### （司法精神鑑定）

1. 赤崎安昭 平成30年1月 放火被疑事件 刑事 簡易鑑定
2. 赤崎安昭 平成30年2月 放火被告事件 刑事 裁判員法50条に基づく公判鑑定
3. 赤崎安昭 平成30年3月 殺人未遂・銃砲刀剣類所持等取締法違反被告事件 刑事 公判鑑定
4. 赤崎安昭 平成30年8月 放火被疑事件 刑事 起訴前本鑑定
5. 赤崎安昭 平成30年8月 殺人被告事件 刑事 裁判員法50条に基づく公判鑑定
6. 赤崎安昭 平成30年8月 暴行被疑事件 刑事 簡易鑑定
7. 赤崎安昭 平成30年10月 殺人未遂被疑事件 刑事 起訴前本鑑定

#### （民事精神鑑定）

1. 赤崎安昭 平成30年1月 後見開始申立事件
2. 赤崎安昭 平成30年1月 保佐開始の審判の取消申立事件
3. 赤崎安昭 平成30年2月 保佐開始申立事件

## 業 績 目 録

4. 赤崎安昭 平成30年3月 後見開始申立事件
5. 赤崎安昭 平成30年4月 補助開始の審判取消申立事件
6. 赤崎安昭 平成30年5月 後見開始申立事件
7. 赤崎安昭 平成30年6月 後見開始申立事件
8. 赤崎安昭 平成30年7月 後見開始申立事件
9. 赤崎安昭 平成30年9月 補助開始の審判取消申立事件
10. 赤崎安昭 平成30年10月 後見開始申立事件
11. 赤崎安昭 平成30年11月 後見開始申立事件
12. 赤崎安昭 平成30年12月 後見開始申立事件

### （医療観察法に関する業務）

1. 放火被疑事件 平成30年1月
2. 放火被疑事件 平成30年4月
3. 殺人被疑事件 平成30年7月

### （労働災害に関する業務）

1. 労働災害に対する意見書 平成30年1月
2. 労働災害に対する意見書 平成30年1月
3. 労働災害に対する意見書 平成30年1月
4. 労働災害に対する意見書 平成30年1月
5. 労働災害に対する意見書 平成30年3月
6. 労働災害に対する意見書 平成30年4月
7. 労働災害に対する意見書 平成30年6月
8. 労働災害に対する意見書 平成30年8月
9. 労働災害に対する意見書 平成30年11月
10. 労働災害に対する意見書 平成30年12月

## 2) 講演, 他

1. 赤崎安昭, 日本精神神経学会, 第9回司法精神医学研修会, 司法精神医学の基本—精神鑑定を中心に, 自宅放火した10年後に殺人未遂に至った事例の検証, 平成30年1月(東京)
2. 赤崎安昭, 井上和博, 柳田信彦, 第10回鹿児島司法精神医学研究会・志学館大学合同模擬裁判, 2名を殺害した統合失調症者の責任能力, 平成30年2月(鹿児島)
3. 赤崎安昭, 鹿児島産業保健総合支援センター 産業保健研修会, 大人の発達障害を知ろう, 平成30年3月(鹿児島)
4. 赤崎安昭, 平成29年度精神科七者懇 第2回「臨床研修指導医講習会」, (1) 学習理論 「成人教育」, (2) カリキュラムプランニング 「カリキュラム目標設定」, (3) 研修医への学習支援Ⅰ 目標設定 「問題点の抽出と目標設定」, (4) 計画づくり, 評価 「カリキュラムの計画づくり」, (5) 研修医への学習支援Ⅱ 方略 「学習方略の計画づくり(基礎編)」, 平成29年3月(福岡)
5. 赤崎安昭, 平成28年度精神科七者懇 第2回「臨床研修指導医講習会」, 研修医への学習支援Ⅲ 評価 「評価の計画づくり(基礎編)」, 平成29年3月(福岡)
6. 赤崎安昭, 伊佐愛林有限会社 創立40周年を祝う会, 人を育てる—精神医学的立場から—, 平成30年4月(霧島市)
7. 赤崎安昭, 鹿児島県県下警察署長等会議, 抑うつ状態の精神鑑定—精神科医から見た責任能力—, 平成30年4月(鹿児島)
8. 赤崎安昭, 鹿児島産業保健総合支援センター産業保健研修会労働災害の判定基準—メンタルヘルス編—, 平成30年6月(鹿児島)
9. 赤崎安昭, 鹿児島産業保健総合支援センター産業保健研修会(実地), 心の癖を知る—性格は変えられるものか?—, 平成30年8月(鹿児島)
10. 赤崎安昭, 井上和博, 柳田信彦, 第9回鹿児島司法精神鑑定人研究会, 軽度精神遅滞の責任能力, 平成30年9月(鹿児島)
11. 赤崎安昭, 日本精神神経学会第10回司法精神医学研修会, 司法精神医学の基本—精神鑑定を中心に—, 再被害行為に至った

## 業 績 目 録

事例の検証, 平成30年9月(鹿児島)

12. 赤崎安昭, 鹿児島県警察人身安全関連事案対策専科講演, 犯罪精神病理学, 平成30年10月(始良市)
13. 赤崎安昭, 鹿児島産業保健総合支援センター産業保健研修会, 気分障害の特性と治療, 平成30年10月(鹿児島)
14. 赤崎安昭, 第10回刑事精神鑑定ワークショップ, 精神鑑定の倫理と中立性, 平成30年11月(東京)
15. 赤崎安昭, 第10回刑事精神鑑定ワークショップ, 精神鑑定演習, 平成30年11月(東京)
16. 赤崎安昭, 第十管区海上保安部メンタルヘルス講習会, 心の癖を知る一性格は変えられるかものか?一, 平成30年12月(鹿児島)
17. 赤崎安昭, 平成30年度鹿児島大学医学部保健学科理学療法専攻実習指導者研修会・鹿児島大学医学部保健学科FD講習会, 大人の“発達障害”を知る一過剰診断に対する注意喚起も含めて一, 平成30年12月(鹿児島)
18. 赤崎安昭, 鹿児島産業保健総合支援センター産業保健研修会, 不安に悩む人の特徴と治療, 平成30年12月(鹿児島)
19. 池田由里子, リアルしごと人(中学生と働く大人の対話の時間)in 鹿児島修学館中学校, 2018年8月(鹿児島市)
20. 池田由里子, リアルしごと人(高校生と働く大人の対話の時間)in 錦江湾高校, 2018年12月(鹿児島市)
21. 井上和博: 子どもの気になる行動の理解と対応～作業療法士の視点から～, おひさま sun, 2018年1月(鹿児島)
22. 井上和博: 子どもの発達と遊び, 紫原地域子育て支援者連絡会, 2018年2月(鹿児島)
23. 井上和博: 発達障害のある子どもの理解と支援～早期療育の実践と保護者支援～, 鹿児島県情緒障害教育研究会冬季研修会, 2018年2月(鹿児島)
24. 井上和博: 配慮の必要な子どもの理解と支援, ふじヶ丘保育園幼児保育相談事業, 2018年2月(鹿児島)
25. 井上和博: 気になる子どもの理解と対応～幼児期からの早期支援～, 始良・伊佐高齢者保健福祉圏域地域リハビリテーション研修会, 2018年3月(始良市)
26. 井上和博, 子どもの運動(からだ)の発達, 子育て支援事業ビジター養成講座, 2018年6月(鹿児島)
27. 井上和博, 気になる子どもの理解と対応～作業療法士の視点から～, りぼんかん, 2018年6月(鹿児島)
28. 井上和博, 発達障害のある子どもの理解と支援～幼児期からの早期支援～, 加治木養護学校夏期公開研修会, 2018年7月(始良市)
29. 井上和博, 子どものからだの発達を促す関わりについて一10ヵ月～1才11ヵ月を対象に一, 鹿児島市親子つどいの広場 なかまっち, 2018年8月(鹿児島)
30. 井上和博, 子どものからだ(運動)の発達一8ヵ月～11ヵ月を対象に一, りぼんかんピアサロン「あかちゃんあつまれ」, 2018年8月(鹿児島)
31. 井上和博: 子どもの発達と遊び～作業療法士の視点から～, 児童発達支援なかよし園, 2018年9月(鹿児島)
32. 窪田正大, 生活障害として高次脳機能障害を考える一就労支援一, 鹿児島大学 医学部 保健学科健康学科 作業療法学専攻 基礎作業療法学講座 公開講座, 2018年10月(鹿児島)
33. 田平隆行, 認知症のIADL障害とリハビリテーション, 認知症ケアに携わる人材育成のための研修事業, 2018年1月(佐賀)
34. 田平隆行, 身障・老年期分野における発想力と行動力, 第29回鹿児島県作業療法学会トピックス講演, 2018年6月(鹿児島)
35. 田平隆行, 認知症予防について, 平成30年度鹿児島市民生委員児童委員協議会研修会, 平成30年6月(鹿児島)
36. 田平隆行, 認知症のひとと家族への支援生活行為の障害と残存能力への支援, 鹿児島県作業療法士協会公開講座, 2018年8月(鹿屋市)
37. 田平隆行, 意思決定支援と生活行為分析, 株式会社ユニティ研修会, 2018年8月(始良市)
38. 田平隆行, 認知症高齢者の生活行為障害と介護ロボット, 鹿児島県作業療法士協会, 認知症UD研修会, 2018年9月(鹿児島)
39. 田平隆行, 認知症のIADL研究, 第52回日本作業療法学会ナイトセミナー (Review Circle on Rehabilitation for Dementia), 2018年9月(愛知)
40. 田平隆行, 認知症の生活行為障害に対する環境調整と介護ロボット支援, 快護生活フェス! 特別セミナー, 2018年10月(鹿児島)
41. 田平隆行, 在宅認知症高齢者の生活障害に残存能力を活かす, 鹿児島大学公開講座「認知機能と生活行為リハビリテーション」, 2018年10月(鹿児島)
42. 田平隆行, 老年期作業療法の治療的枠組み, 鹿児島県作業療法士協会現職者研修会, 2018年10月(鹿児島)
43. 田平隆行, 認知症の介護予防と生きがいづくり, あいで会研修会, 2018年12月(枕崎市)
44. 築瀬 誠: 作業療法学, 平成30年度宮崎県立小林高等学校大学出前講義, 2018年6月(小林市)
45. 築瀬 誠: 精神障害と家族, 平成30年度宮崎県立都城高等学校大学出前講義, 2018年7月(都城市)

## 業 績 目 録

46. 築瀬 誠：作業療法学. 平成30年度熊本県立八代高等学校大学出前講義, 2018年9月（八代市）
47. 吉満孝二：高齢者介護に関する福祉機器, 介護ロボットの開発. 出水高校出前講義, 2018年10月（出水市）
48. 吉満孝二：義肢と装具. 鹿児島県盲学校出前講義, 2018年12月（鹿児島）.
49. 吉満孝二：手を考える. 社会福祉法人常磐会法人研修会, 2018年2月（鹿児島）
50. 吉満孝二：高齢者介護に関する福祉機器, 介護ロボットの開発, かがしま teck ミーティング, 2018年3月（鹿児島）
51. 吉満孝二：顔の認知. 社会福祉法人常磐会法人研修会, 2018年8月（鹿児島）
52. 吉満孝二：介護ロボットの開発と研究, 鹿児島大学公開講座, 2. 18年11月（鹿児島）